

第11次 剣淵町中期社会教育振興計画

計画期間：平成28年度～平成32年度



剣淵町教育委員会

も く じ

はじめに.....	1
1 第 11 次剣淵町中期社会教育振興計画の策定にあたって.....	1
2 答申書	2
3 計画策定の意義	3
4 本計画の基本的な方向性	3
5 計画の期間	4
6 その他	4
7 本計画の位置づけ	5
推進の目標並びに推進の重点と方策	6
推進目標Ⅰ ふるさとづくり（まちを知り、未来につなげるふるさとづくり）	6
推進目標Ⅱ ひとづくり（まちを創る人を育てるひとづくり）	8
推進目標Ⅲ 健康づくり（まちを創る身体を育てる健康づくり）	10
推進目標Ⅳ 文化づくり（まちを創る心を育てる文化づくり）	12
推進目標Ⅴ 条件づくり（まちを創る基盤を整える条件づくり）	14
推進の重点と方策を進めるにあたって	16
資料編.....	17
1 社会教育施設	17
2 社会体育施設	18
3 文化財	20
4 第 11 次剣淵町中期社会教育振興計画策定要綱	22
5 第 11 次剣淵町中期社会教育振興計画策定委員会名簿	23
6 第 11 次剣淵町中期社会教育振興計画策定までの流れ	24
7 諮問書	25
8 アンケート調査結果	26

はじめに

1 第11次剣淵町中期社会教育振興計画の策定にあたって

剣淵町教育委員会

委員長 高草木 優

「第10次剣淵町中期社会教育振興計画（平成23年度～平成27年度）」の推進にあたりまして、関係各位から多大なるご支援とご協力をいただき、一定の成果を収めることができましたことにつきまして、心からお礼申し上げます。

少子高齢化、核家族化、人口減少、価値観の多様化など、社会情勢が大きく変容し、近年では人間関係の希薄化や社会的モラルの低下などにより、地域や家庭における教育力の衰退も指摘されております。こうした状況に社会教育が直接解決できる課題はむしろ少なく、社会教育は、従来存在していた人と人同士がつながろうとする気持ち、地域の連帯感や支え合いの意識を取り戻すことによって住民自らが課題を解決できるような力をつけることを支援していかなければなりません。

「第10次剣淵町中期社会教育振興計画」の最終年度を迎え、施策の現状と課題を整理したうえで、今後5年間でめざす姿、また、進めなければならない施策と方向性を社会教育委員の会議に諮問させていただき、社会教育委員、スポーツ推進委員20名で構成する「第11次剣淵町中期社会教育振興計画策定委員会」での審議を経て、この度、答申をいただき、計画を策定する運びとなりました。本計画の策定にあたり、ご多忙の中、度重なるご審議をいただきました策定委員の皆様のご尽力に深く感謝申し上げますとともに、厚くお礼申し上げます。

今後は、計画の基本理念である「ふるさとが輝くために・・・～気付こう 自ら学ぼう そして生かそう～」を合言葉に計画を着実に実行してゆかなければなりません。関係団体や町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。策定にあたってのご挨拶とさせていただきます。

2 答申書

答 申 書

第11次剣淵町中期社会教育振興計画の策定について

平成28年3月25日

剣淵町教育委員会

委員長 高草木 優 様

剣淵町社会教育委員の会議

委員長 金 村 哲 也

平成27年5月19日付けをもって諮問のありました「第11次剣淵町中期社会教育振興計画」の策定につきましては、「第10次剣淵町中期社会教育振興計画」の達成状況反省等を踏まえ、諮問書に記されている事項に留意し、計画策定委員会を組織し、町民の意識調査、第5次剣淵町総合計画、剣淵町教育目標、北海道教育推進計画等との整合性に留意しながら、慎重に審議を重ね、平成28年度から平成32年度までの5年間の計画を立案いたしました。

本答申が各関係機関、団体との連携と協力により、剣淵町社会教育の推進の活動指針となりますことを期待しまして、ここに答申いたします。

3 計画策定の意義

近年、社会・経済の情勢はめまぐるしく変化しており、それらに対応していくため、生涯を通じての学びが非常に重要な意味を持つようになってきています。

また、少子高齢化や価値観の多様化などを背景に、地域では、これまでの仕組みではなかなか解決が難しい課題を抱えるようになっており、活力ある地域づくりのためには、地域住民が主体となって考え、解決していくための学習活動を活発化していく必要があります。

この計画は、すべての剣淵町民の学びを保障し、また、学びを通して潤いと活力ある生活を送ることができるよう、社会教育行政が果たす役割と方向性を示しています。

4 本計画の基本的な方向性

- 1 「町民憲章」をはじめ、「第5期剣淵町総合計画（平成23年度～平成32年度）」が掲げている将来像「人・夢・大地やさしさ奏でる絵本の里けんぶち」の実現に向けて、社会教育行政がどのように取り組んでいくかという方向性を示しています。
- 2 『ふるさとが輝くために… ～気付こう 自ら学ぼう そして生かそう～』を基本理念とし、「町民憲章」の5項目と「教育目標」の5項目を整合させた「5つのづくり（ふるさとづくり・人づくり・健康づくり・文化づくり・条件づくり）」を、社会教育を推進するうえでの基本的な目標（柱）とします。
- 3 国の「第2期教育振興基本計画」、北海道の「北海道教育推進計画（北海道教育ビジョン）」など、国や北海道の関連計画の内容をふまえています。

5 計画の期間

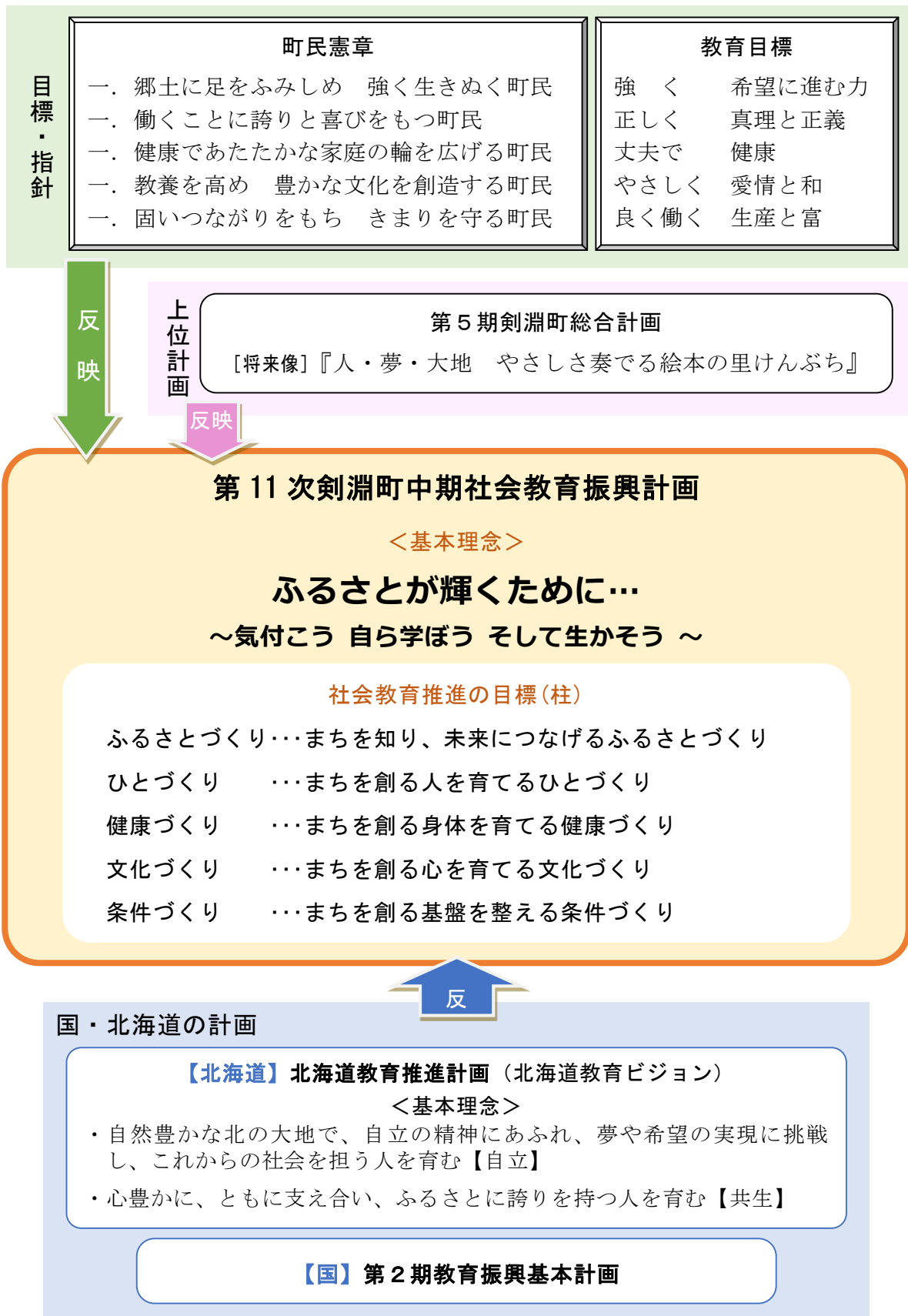
計画期間は、平成28年度～平成32年度までとします。

6 その他

事業については、毎年、効果などを検証するとともに、その結果を社会教育委員及び公民館運営審議会委員の会議などで、意見を伺いながら、翌年実施する事業に反映させるとともに、必要に応じて、内容を改善していくこととします。

そのため、個別事業については本計画書には記載せず、個別事業票で進捗を管理します。

7 本計画の位置づけ



推進の目標並びに推進の重点と方策

推進目標Ⅰ ふるさとづくり（まちを知り、未来につなげるふるさとづくり）

現状と課題

剣淵町の歴史は、明治32年に屯田兵が入植し、開拓の鍬が下されたことにより、はじまりました。以来117年にわたり、町民の英知とたゆまない努力によって現在の町を作り上げてきました。

ふるさと剣淵を愛する心は、郷土の歴史を学び、そこに育まれた人や文化を大切に守っていくことにより育まれます。郷土の歴史を学ぶことができる郷土資料や文化財を守り、歴史を語り継ぎ、未来に引き継いでいかなければなりません。また、伝統文化である屯田太鼓や剣淵神楽なども引き継いでゆくことが重要です。

昭和63年に始まった「絵本の里」づくりも28年目を迎え、着実に本町の知名度やイメージを高めてきました。しかし、絵本に対する理解をはじめ、読書に親しむ習慣、絵本の里づくりと関わりの深い福祉の取り組みなどが、町民に広く普及しているとはいえない状況です。社会教育の立場からも、絵本の里づくりを推進していくことが必要です。

生活水準の向上により、仕事や生活、余暇の過ごし方などに求める価値観は一人一人多様化しています。その一方で、地域が抱える課題（少子化、高齢化、子育てなど）について、お互いに協働して解決していく力が求められています。自らの地域の課題を認識し、解決する足掛かりとなるような、地域住民が集える場所、交流できる機会の創造が必要です。

また、本町では、町民が時代に即応した生活確立し、物心両面から明るく住みよいまちを築くため、「新しいまちづくり運動」を地域・事業所・行政が協力し合い進めており、そのうち、クリーン作戦、花いっぱい運動などが定着しています。今後も、「新しいまちづくり運動」がさらに普及するよう、普及啓発を図っていくことが必要です。

1 郷土資料や文化財の保存活用

- ①郷土資料、文化財の適切な保存と整理・活用
- ②ふるさとを学ぶ機会の提供

2 伝統文化の保存と伝承

- ①郷土芸能保存団体の支援体制の強化

3 「絵本の里づくり」のさらなる推進

- ①町民が絵本に親しむ取り組みの推進
- ②絵本の里らしい読書活動の推進
- ③絵本の里づくり団体への支援
- ④絵本の里づくり活動の発信

4 共に学び、つながりを育む地域づくりの推進

- ①地域課題や時代に即した学習機会の設定
- ②人々が集える場や機会の提供

5 「新しいまちづくり運動」の推進

- ①「新しいまちづくり運動」の継続と普及啓発



推進目標Ⅱ ひとつづくり（まちを創る人を育てるひとつづくり）

現状と課題

家庭教育は教育の原点であり、家庭は子どもの教育に第一義的な責任を有しています。子どもたちが「社会の中で生きる力」を身につけていくためには家庭教育が非常に重要ですが、核家族化の定着、地域の連帯感の希薄化が進み、子育てや教育に不安や孤立を感じ、社会性や自立心など、子どもの育ちや基本的な生活習慣等に課題を抱える家庭もあるのが現状です。また、保護者の価値観の多様化により、家庭教育に対する考え方もさまざまです。

「教育を考える集い」などの家庭教育に関する学習機会の提供をはじめ、子供会育成連合会、PTA連合会への支援などを通じ、家庭・地域・学校が協働して「家庭の教育力」を高め、子どもたちの学びや体験活動を支えていく必要があります。

少子化、過疎化により、子供会など地域を単位とした組織の維持が困難になっており、近隣の地域単位会との合併などの検討も必要です。

超高齢社会が到来し、人生の第2ステージを歩もうとする町民が増えているなか、本町では、平波大学を開設し、高齢者の社会参加や生きがいの場を提供していますが、入学希望者の減少が課題となっています。この傾向は老人クラブなどにもみられ、高齢者が社会で活躍する大切さの啓蒙や場の確保を進めていかなければなりません。また、高齢者が持つ豊かな人生経験や知識・技能を、地域社会に生かしていく必要があります。

また、社会状況の変化に対応するため、新しい知識や技術を身につけたいと望む人も増えています。学習ニーズの把握とともに、そのための各種講座の開設や学習機会の設定、学習支援は重要な課題です。

本町では、毎年、国際交流事業を支援し、他国への理解や平和への想いを育んできました。国際情勢が複雑化するなか、国際理解につながる学習や活動支援が今後も重要になっています。

1 家庭教育の推進

- ①家庭教育に関する学習機会の設定(家庭教育学級の開設など)
- ②家庭教育に関するリーダーの養成
- ③PTAとの連携事業の推進

2 子どもたちの学びを支える取り組みの推進

- ①子どもたちの読書活動の推進
- ②多様な体験活動の機会の提供
- ③家庭・地域・学校が協働し子どもたちを育てる仕組みづくり

3 多様な課題に対応した学習機会の提供

- ①さまざまな世代への多様な学習機会の提供
- ②新たな課題に対する学習機会の提供
- ③課題解決の担い手となるリーダーの育成と活用

4 学習成果を生かせる仕組みづくり

- ①超高齢社会における高齢者の活躍の場づくりの推進
- ②高齢者などの町民の豊かな人生経験や知識・技能の継承促進
- ③人材バンクの整備と活用に向けた調査研究



推進目標Ⅲ 健康づくり（まちを創る身体を育てる健康づくり）

現状と課題

情報化や技術革新が飛躍的に進展し、日常生活の利便性が高まる一方で、精神的なストレスの緩和や心身の健康を求める町民のニーズも、子どもから大人まで高まっています。

また、超高齢社会においては健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる「健康寿命」を延ばすことが求められています。町民アンケートにおいても、年齢が高まるにつれ健康に関する関心度が高くなっていることから、心身ともに健やかな生活を送ることを目的とした学習機会の提供やスポーツを通じた健康づくりを推進しなければなりません。

一方で、少子化・高齢化により、スポーツ少年団やスポーツ団体が減少し、町民がさまざまなスポーツに接する機会が減少しています。また、生活の利便化や生活様式の変化によって、日常生活で身体を動かす機会が減少しているほか、子どもたちの間では、メディアに触れる時間や室内遊びの増加、塾などの学習活動により、外遊びやスポーツ活動の時間が減少しています。

体育協会やスポーツ少年団本部への支援、アクティブキッズなどの開催を通じて、こうした状況に歯止めをかけるとともに、ニュースポーツの普及など、年代を問わず町民がスポーツに親しめる取り組みを進めていく必要があります。



1 健康づくりを意識した事業の推進

- ①保健関係部局と連携した学習機会、スポーツ機会の提供
- ②子どもの体力向上と望ましい生活習慣づくりの推進

2 生活へのスポーツの定着化の推進

- ①レジャースポーツ、レクリエーションスポーツの普及
- ②スポーツ教室の開催
- ③スポーツ大会の開催

3 スポーツ団体の育成・支援

- ①スポーツ団体への活動支援
- ②各団体における指導者育成の支援
- ③上位大会等への出場支援

4 スポーツ振興のための環境の整備

- ①学校開放施設の活用
- ②たれもが使いやすいスポーツ施設、設備の整備
- ③海洋性スポーツの普及、振興に関わる環境の整備
- ④スポーツに関する情報提供の充実



推進目標Ⅳ 文化づくり（まちを創る心を育てる文化づくり）

現状と課題

芸術文化は、町民の創造性を育み、表現力を高めて心豊かな生活を送るうえで欠かせないものです。

生活の中に潤いや心の豊かさを求め、個々の趣味や生きがいを高める人達が増えているなか、本町においても、芸術文化活動に関するニーズの高さは、町民アンケートで明らかとなりました。

本町では、多くの文化団体やサークルがさまざまな活動を行っていますが、多くの文化団体やサークルでは、会員の固定化、高齢化による減少に悩んでいます。文化協会に対する支援をはじめ、文化団体・サークルに対する活動場所の提供などを継続するとともに、これら団体・サークルの活動について、町民に広く情報発信し、参加者の拡大など課題の解決に向けた取り組みを進めていく必要があります。また、町民文化祭の開催などにより、日々の活動成果を発表する場を提供するほか、生涯学習振興奨励事業の継続と活用を促進していくことも必要です。

本町では、絵本をテーマとした「絵本の里」づくりが進められ、まちづくりの柱となっていますが、文化活動の面からも、絵本の持つやさしさや心の大切さなどを伝える取り組みが、「けんぶち絵本の里を創ろう会」などにより進められてきました。その結果、読み聞かせ団体「おはなし会芽ぶっく」が読み聞かせ活動を展開するなど、町民の間に一定の浸透はみられていますが、今後も、絵本から受ける感性を生かした文化活動を推進していくことが必要です。

そのほか、町民に対する芸術鑑賞機会の提供として、一般町民、児童生徒を対象とした舞台芸術や音楽鑑賞機会などを毎年それぞれ提供しています。今後も、できる限り質の高い多様な芸術鑑賞機会の提供を継続していく必要があります。

1 文化団体の活動支援

- ①文化団体・サークルに対する支援
- ②各団体における指導者育成の支援
- ③郷土芸能の伝承保存

2 芸術文化に関する情報の提供

- ①文化団体・サークルに関する情報の町民への提供
- ②町民の芸術・文化にふれる機会の充実

3 町民の文化活動の発表機会の提供

- ①町民文化祭の開催
- ②その他の発表機会の設定

4 地域の特色を生かした文化活動の推進

- ①絵本の里にふさわしい文化活動の展開



推進目標Ⅴ 条件づくり（まちを創る基盤を整える条件づくり）

現状と課題

町民が生涯にわたって自己の能力と可能性を最大限に高め、さまざまな人々と協調・協働しながら自己実現と社会貢献を行うことは大切なことです。そのためには、人々がそれぞれのニーズに応じた多様な学習を、あらゆる機会にあらゆる場所において自発的に行い、その学習成果を社会に生かしていくことができる“生涯学習社会”を構築する必要があります。

社会情勢の変化が激しく、多様化が一層進行するなか、社会教育のみで解決できる課題は少なくなってきました。さまざまな課題解決の基盤を社会教育が担いつつも、行政内の他部局や民間の活動と連携・調整を図ることにより、課題解決に向けた活動をより広く、深く展開していくことが重要です。

近年のインターネットの普及に伴い、パソコンや携帯端末などで学習に関する情報を入手する町民も増えています。生涯学習に関する各種情報を、これまでの提供方法に加えて、インターネットでも提供できるよう対応していく必要があります。

各種団体が活動を行ううえで必要とする支援はさまざまですが、多様な学習方法や学習機会、学習成果の活用を応援する補助制度に関して、活用のしやすさや公平性などに配慮しながら継続していく必要があります。

本町ではこれまで、学習活動の拠点や環境づくりとして、各種施設や備品の整備などを進めてきました。これらのなかには、改修や更新が必要なものもあることから、町民が安全でより快適に学習活動を行うことができるようにするためにも、適切な維持管理に努め、施設や備品が持つ機能を最大限に活用していく必要があります。



1 教育行政と一般行政の連携推進

- ①一般行政が実施する事業と連携した生涯学習の推進（健康教育、家庭教育、消費者教育など）

2 学びを支援する補助制度等の維持、検討

- ①町民の学びを支援する補助制度等の継続、研究

3 生涯学習情報の提供

- ①広報や防災行政無線、チラシ・ポスターなどによる生涯学習情報の提供の充実
- ②インターネットなどを活用した生涯学習情報の提供

4 生涯学習施設の整備

- ①生涯学習施設・備品等の維持管理、有効活用

5 町民の学びを支える体制づくりの推進

- ①教育関係委員の町民への周知
- ②社会教育主事、社会教育関係職員の確保と資質の向上
- ③町民の学びを支援する相談体制の整備



資料編

1 社会教育施設

施設名	剣淵町民センター
所在地	剣淵町仲町37番1号
電話番号	34 - 2121
開館時間	8:15~21:00
施設内容	大集会室 研修室 実習室 女性研修室(和室) 大会議室
建設年月日	昭和55年10月
構造	鉄筋コンクリート2階建て
面積	1,112.80㎡

施設名	剣淵町りんどう交流館
所在地	剣淵町仲町3番6号
電話	34 - 2634
施設内容	サークル活動室、集会室1・2、休憩室、調理室
建設年月日	昭和54年8月
構造	鉄骨造2階建て
面積	372.4㎡

施設名	剣淵町絵本の館
所在地	剣淵町緑町15番3号
電話番号	34 - 2624
開館時間	10:00~17:00
休館日	水曜日(但し、イベント期間は無休)
建設年月日	平成16年6月
構造	鉄筋コンクリート 一部鉄骨造・木造平屋建て
面積	約8,684㎡

施設名	絵本原画收藏館
所在地	剣淵町仲町35番1号
建設年月日	平成2年12月
構造	鉄筋コンクリート コンクリートブロック
面積	186.34㎡

施設名	剣淵町郷土資料館
所在地	剣淵町緑町15番4号
電話	34 - 2235
開館時間	常時利用可能(通常は施錠)
休館日	特になし
建設年月日	昭和52年10月
構造	木造2階建て
面積	445.50㎡

2 社会体育施設

施設名	剣淵町B & G海洋センター体育館
所在地	剣淵町仲町21番1号
電話番号	34 - 2246
開館時間	平日 13:00~21:00 (6月~8月は21:30まで) 土曜日 13:00~21:00 (6月~8月は21:30まで) 日曜日 10:00~17:00
休館日	月曜日
建設年月日	昭和56年9月
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造り
面積	約1,102㎡

施設名	B & G海洋センタープール
所在地	剣淵町仲町21番1号
電話	34 - 2246
開館時間	水曜日~土曜日13:00~21:00 日曜日~火曜日13:00~17:00 (月・火については夏休み中のみ利用可)
休館日	7月12日、7月13日、8月15日、8月16日
施設内容	25メートル×6コース、シャワー(温水)、更衣室、事務室
建設年月日	昭和56年9月10日
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造り
面積	約732㎡ (25㎡×13m)
その他	青旗時利用可能

施設名	剣淵町B & G海洋センター艇庫
所在地	剣淵町東町5258番地
施設内容	ボートヤード×450㎡ ダブルスカル×2 カヌー×15 OPディンギー×10 ローボート×2 420ヨット×2 カッター×2 12Fヨット×2 レスキュー艇×1、船外機×2 ライフジャケット約60着
建設年月日	昭和57年7月
構造	鉄筋平屋建て
面積	447㎡

施設名	剣淵町平波球場
所在地	剣淵町元町254番地
施設内容	両翼91m センター116m サブ練習場 ダッグアウト スコアボード 本部席
建設年月日	昭和63年11月
面積	26,190㎡

施設名	武道館
所在地	剣淵町仲町22番2号
施設内容	柔剣道場正式試合場 夜間照明4基 トナリールーム(マシン10種)
建設年月日	昭和53年8月 平成9年に全尖候型テニスコートを含む多目的の運動公園が完成
面積	447㎡
構造	鉄筋平屋建て
施設名	ふれあいパークゴルフ場
所在地	剣淵町旭町1番地
開館時間	日の出から日没まで
施設内容	2コース(さわらび・りんどう)各9ホール 総延長950m
建設年月日	平成10年12月
面積	23,000㎡

施設名	桜岡パークゴルフ場
所在地	剣淵町東町
開館時間	日の出から日没まで
施設内容	2コース(湖畔コース18ホール・高台コース36ホール)

施設名	剣淵町屋内ゲートボール場
所在地	剣淵町仲町21番1号
建設年月日	平成元年11月
構造	鉄骨平屋建て
面積	844㎡

3 文化財

【町指定文化財】

名 称	屯田兵屋	種 別	有形文化財建造物
指 定 日	昭和50年7月12日		
<p>剣淵町屯田兵屋337戸は、他の大隊本部等の施設とともに、屯田兵入地前年の明治31年から翌32年にかけて建設を終え、同年7月、屯田兵とその家族2,000人余を受け入れている。</p> <p>兵屋は間口5間（約9m）奥行3間半（約6.4m）立ち9尺（約2.7m）面積17坪5合（約57.7㎡）桁葎平屋で6畳と4畳半の座敷、6畳の板の間と土間7.5坪（約24.8㎡）からなり、障子または板壁で仕切られていた。</p> <p>展示の内容を検討・充実する必要があると考えたボランティアらの努力により、昭和58年（1983年）4月、市街地錦町末広公園（現在の緑町、絵本の館隣接地）内資料館横に移し、展示内容の整備が図られている。</p>			

名 称	開拓記念木	種 別	天然記念物
指 定 日	昭和31年9月1日		
<p>屯田兵が入植した時、既に一際ぬきんでた大木でモクセイ科の「やちだも」である。剣淵町にたどり着いた兵員、家族はこの樹の下で訓示を受け、熊笹の中の兵屋に向かったと伝えられ、歴史的に重要な樹木として指定した。</p> <p>昭和43年の開道100年には北海道の名木100選に選ばれ、また本町開基80年の際は「町木」に指定された樹である。</p> <p>調査の結果、室町時代（1334年～1573年）の初期に芽生えた樹木ということで開基100年を経た時点では、推定樹齢は約640年になると考えられている。</p>			

名 称	緋鮎、銀鮎、鉄魚	種 別	天然記念物
指 定 日	昭和39年9月1日		
<p>これらの魚類は鮎が突然変異したものとされている。通称「へび沼」「赤沼」「馬蹄沼」等と呼ばれる剣淵側や犬牛別の旧河川での発見が多いことから、剣淵が生息地と言われ、天然記念物に指定になった。一時、釣魚の盛んな頃は、緋鮎釣りを目当てにした団体バスツアーが来町した時期もあったが、現在は沼の水量減等の環境変化や生息する魚類の減少もあって、釣人の姿があまり見られなくなった。</p>			

名 称	元屯田兵射的場	種 別	史跡
指 定 日	昭和29年9月1日		
<p>北辺の警備と開拓の大任を担って入地した屯田兵の射撃訓練のための施設で、西岡町6線道路沿いに、西3号のやや東側から西2号を経て丘陵地に至る幅30間（約54m）、長さ330間（約594mが当時射的場敷地で第3大隊の入地に先立ち、明治31年うっそうと繁った森林を切り開いて敷地の西端に高さ約4.5kmの射弾止め土堤を南北に築き、これに沿って幅約2m、深さ約2mの観的壕（周囲に木ぐいを打ち込んだ堀）を配し、標的までの距離4段階（200, 300, 500, 800ヤード）の射塚（しゃだ）を盛土で作った大掛かりな射撃訓練場であった。</p> <p>屯田兵制度廃止となった明治37年4月以降は、周囲から開拓が進み、現存するものは高い土堤と観的壕、それに射塚（しゃだ）が一ヶ所残るのみとなったが、この元屯田兵射的</p>			

場は丸山神社を含む丸山公園と一体化した形で存置されており、本町開拓史を語る重要文化遺産の一つである。

【その他の文化財】

名 称	舟付場	種 別	史跡
<p>屯田兵制度最後の屯田兵が明治32年7月に家族を従えて、剣淵町に2個中隊、士別に1個中隊入地した。このとき、和寒までは建設列車を利用していたが、それ以北は開削されたばかりの道に足をとられながら、原始林や熊笹の生い茂る中を歩いてたどり着いた。</p> <p>この場所は元東剣淵小学校の北側で、現在の国道40号線ぞいに位置している。この舟付場はその後の道路開削や鉄道の敷設によって役割を終えたが、その時期については定かではない。</p>			

名 称	難波田橋	種 別	史跡
<p>開拓当時、剣淵町と士別の境界となる犬牛別川は、交通上の大きな障害であった。これを解消するために、屯田兵第4中隊の手によってこの川に初めて橋が架設された、橋名は中隊難波田憲欽の名をとって名付けられた。この時の橋の規模等、定かな記録は残されていない。</p> <p>いずれにしろ、当時の自然な環境からは、幾度か架け替えの歴史が刻まれたと推測されるが、旭川土木現業所の所管資料によれば、コンクリート床版橋の一次造橋は昭和10年に完成。橋長47m、幅員10mであった。その後、幾度かの改修を経て、昭和60年に築造し、橋長97m幅員10mの銅橋となって現在に至る。</p>			

名 称	元福井橋	種 別	史跡
<p>屯田兵が入地した当時の剣淵は、東部山沿いの低湿地帯を大きく迂回していた。そのため、旭川方面との連絡道路との建設には、どうしてもこの川を越す必要があり、元東剣淵小学校の北側付近に屯田兵第3中隊によってこの川に初めて土橋が架けられた。この時の中隊長が陸軍歩兵大尉福井重吉であったので、この橋を「福井橋」と名付けた。</p> <p>なお、福井橋は道路の改修整備や剣淵町の切り替えが行われて無くなった。</p>			

4 第11次剣淵町中期社会教育振興計画策定要綱

1 目的

この要綱は、第11次剣淵町中期社会教育振興計画(以下「計画」という。)を策定するための必要な事項を定めることを目的とする。

2 実施計画と職員

- (1) 計画を策定する機関は、社会教育委員の会議とする。
- (2) 計画策定に従事する職員は、教育委員会教育課職員をもって充てる。

3 計画策定委員会

計画の答申に万全を期すため計画策定委員会を設置する。計画策定委員会の構成は、社会教育委員10名、スポーツ推進委員10名の合計20名とする。

4 部会の設置

住民の意見、要望を計画に反映させ、策定作業の効率化を期すため部会を設け、それぞれの領域に関わる課題、推進方策を協議し計画を策定する。

- (1) 第1部会 家庭教育・青少年教育
- (2) 第2部会 成年教育・高齢者教育・絵本の里づくり
- (3) 第3部会 スポーツ推進
- (4) 第4部会 文化財・文化・芸術・基盤整備

5 役員

社会教育委員の互選により計画策定委員会に委員長、副委員長を置く。なお、部会の部会長及び副部会長は部会の中で互選により決定する。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名
- (3) 部会長 各1名
- (4) 副部会長 各1名

6 会議の招集

- (1) 計画策定委員会及び計画策定委員会役員会は委員長が招集する。
- (2) 計画策定委員会各部会は、委員長の同意を得て各部会長が招集する。

7 会議の議長

各会議における議長は招集者が行う。

8 その他

この要綱に定めるものの他、必要な事項は計画策定委員会で協議の上、決定する。

9 この要綱は、平成27年5月19日から施行し、計画策定委員会の解散と同時に廃止する。

5 第11次剣淵町中期社会教育振興計画策定委員会名簿

1 委員長、副委員長

- (1) 委員長 金 村 哲 也
 (2) 副委員長 柴 田 泰 成

2 部会

部会	部会の領域	役 職	所 属	氏 名
第1部会	家庭教育 青少年教育		スポーツ推進委員	山崎 裕志
		副部会長	社会教育委員	小柳 美和
			社会教育委員	高橋 富士子
		部会長	社会教育委員	金村 哲也
			社会教育委員	窪井 たま

第2部会	成年教育 高齢者教育 絵本の里づくり	部会長	社会教育委員	大居 晴彦
			社会教育委員	柴田 泰成
			社会教育委員	高橋 朋一
			スポーツ推進委員	森江 裕紀
		副部会長	スポーツ推進委員	三浦 亮人

第3部会	スポーツ推進	副部会長	スポーツ推進委員	新山 めぐみ
			スポーツ推進委員	坂本 太
		部会長	スポーツ推進委員	三浦 学
			スポーツ推進委員	安田 かずみ
			スポーツ推進委員	垣内中 理恵

第4部会	文化・芸術 文化財 基盤整備	副部会長	社会教育委員	横畠 正宏
			社会教育委員	千葉 修
		部会長	社会教育委員	中谷 晋二
			スポーツ推進委員	稲葉 篤子
			スポーツ推進委員	佐藤 大介

3 策定委員会事務局

役 職	職 名	氏 名
事務局 長	教育課長	鹿野 利喜夫
事務局 次長	教育課参事	宍戸 敏彦
事務局 員	絵本の館館長	佐藤 昭男
〃	教育課係長	高橋 愛佳
〃	教育課主事	佐藤 聖弥
〃	教育課主事	精進 裕介
〃	生涯学習推進アドバイザー	黒田 峰俊

6 第11次剣淵町中期社会教育振興計画策定までの流れ

日 程	内 容
H27. 02. 19～03. 05	町民に対する生涯学習等に関する意識調査実施
H27. 04. 28	教育委員会議において、第11次剣淵町中期社会教育振興計画の策定について決定
H27. 05. 19	第11次剣淵町中期社会教育振興計画第1回策定委員会 ・要綱、構成及び役員決定
H27. 07. 17	第2回策定委員会 ・第10次計画の評価、課題整理、 ・ワークショップ等による部会協議
H27. 09. 16	第3回策定委員会 ・計画素案の審議
H27. 12. 15	第4回策定委員会 ・答申案作成
H28. 03. 18	社会教育委員の会議 ・答申案決定
H28. 03. 25	答申

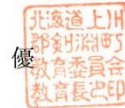
7 諮問書

諮 問 書

平成27年 5月19日

剣淵町社会教育委員の会議
委員長 金 村 哲 也 様

剣淵町教育委員会
委員長 高草木



第11次剣淵町中期社会教育振興計画の策定について（諮問）

標記の件につきまして、下記のとおり諮問いたしますので、答申くださいますようよろしくお願いいたします。

記

本町の社会教育は平成23年度から平成27年度の5年に亘る「第10次剣淵町中期社会教育振興計画」を策定し、『学びから生まれるみんなのしあわせ』をテーマとして町民の学びの活性化や健康スポーツの活性化、学校・家庭・地域の協力や子育て支援、人にやさしい絵本のようなまちづくり、青少年の健全育成や異世代間の交流を推進してきました。

この間、社会情勢は刻々と変化し、過疎化、情報化、少子高齢化などが進展し、また町民の価値観の変化により社会教育に求められる課題は多様化してきています。

このような中、変化・多様化する課題に対応して町民の学習活動を支援し、その成果を地域に還元することにより「人づくり・まちづくり」が進められるよう社会教育にも変化が求められています。

つきましては、剣淵町総合計画との整合性を図りながら様々な分野と連携を図り、本町の現状と課題に即した社会教育が推進されるよう「第11次剣淵町中期社会教育振興計画」（計画期間：平成28年4月1日～平成33年3月31日）の策定について諮問いたします。

8 アンケート調査結果

I 調査の概要

この調査は、平成28年度からの新たな中期社会教育振興計画（5ヶ年計画）を策定するにあたり、町民の社会教育に関する現状や意向、意見などを把握するために実施しました。

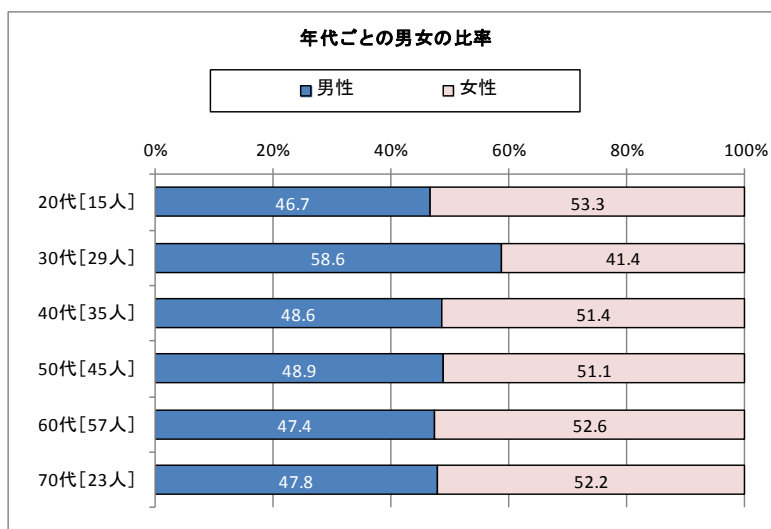
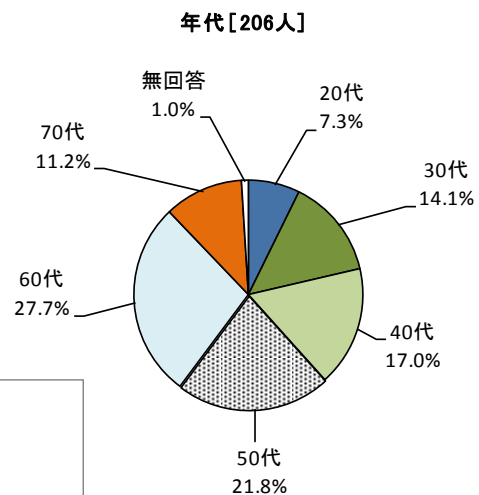
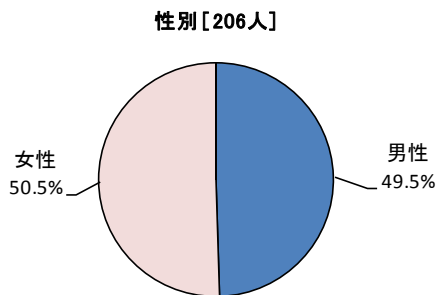
調査の対象	20代から70代までの剣淵町民 500人（無作為抽出）
調査期間	平成27年2月～3月
配布・回収	配布 500票 回収 206票（回収率 41.2%）

II 回答者の属性

性別は、「男性」が49.5%、「女性」が50.5%と、ほぼ半数ずつです。

年代は、「60代」（27.7%）が最も高く、「50代」（21.8%）、「40代」（17.0%）、「30代」（14.1%）、「70代」（11.2%）、「20代」（7.3%）の順です。

年代ごとの男女の比率をみると、30代と80代のみ「男性」の比率が高く、その他の年代は「女性」の比率が高いです。



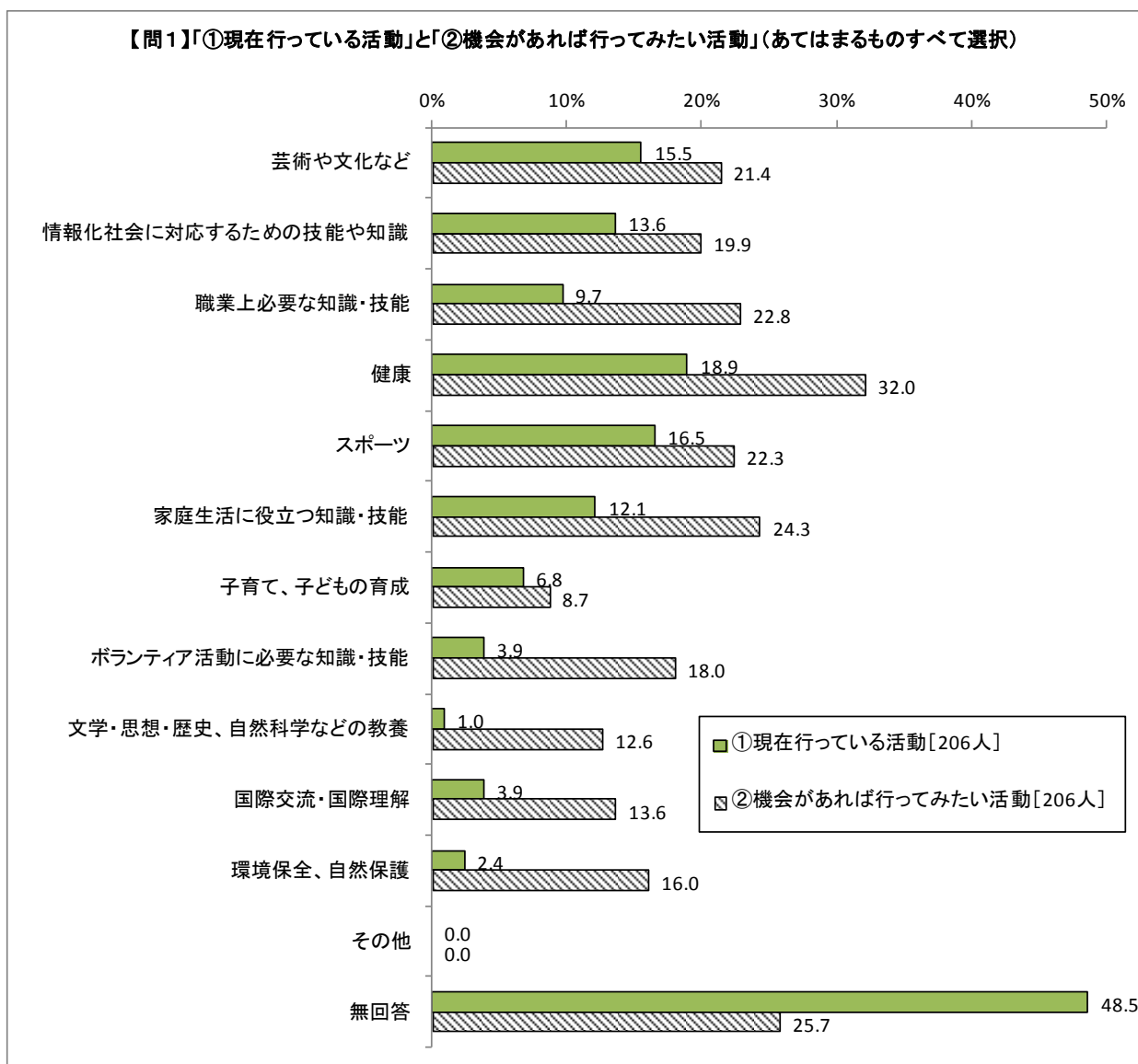
Ⅲ 設問別調査結果

【問1】行っている活動、行ってみたい活動

現在（最近）、次のような活動を行っていますか。また、今後機会があれば行ってみたいものはありますか。それぞれ○をつけてください。

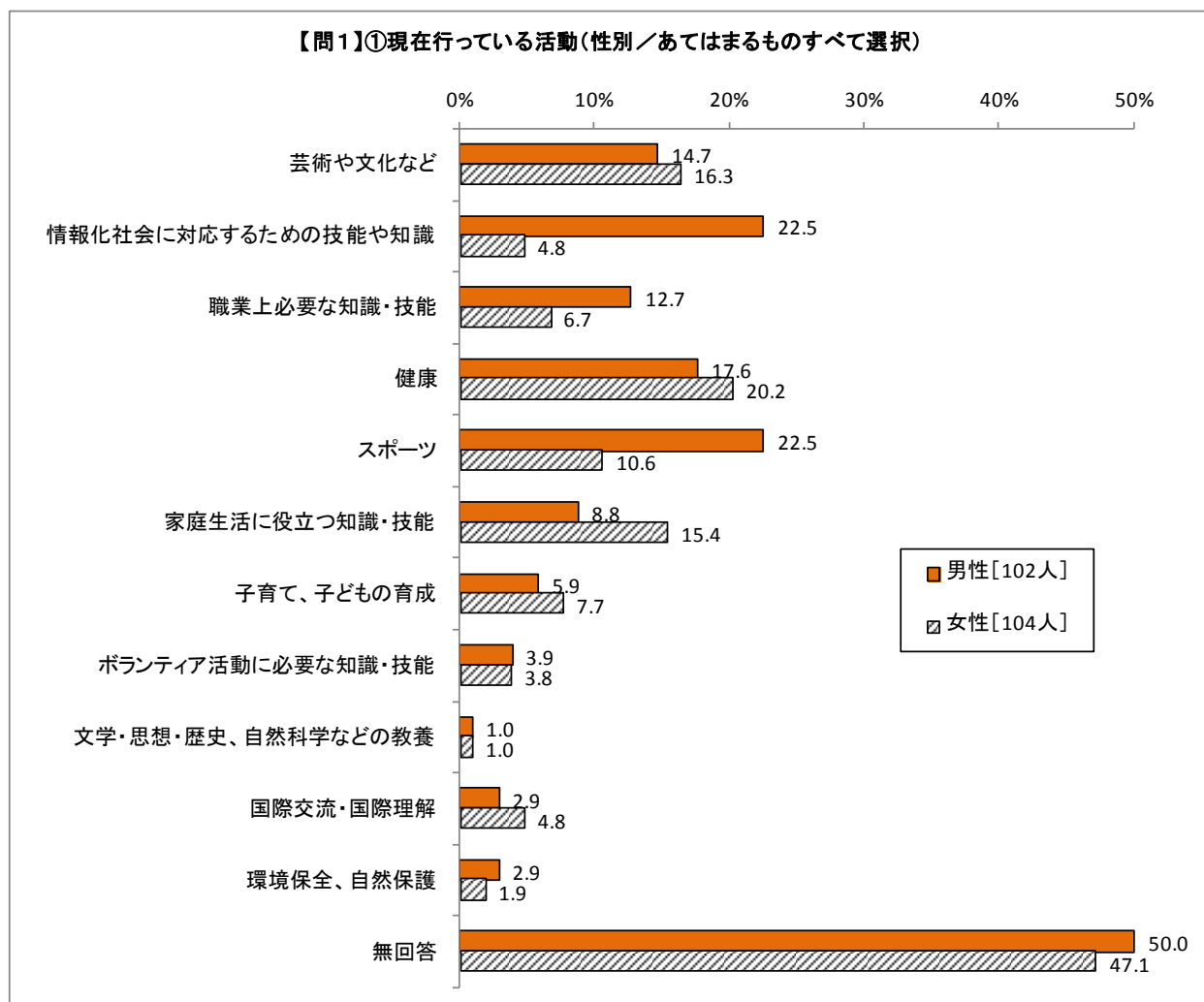
①現在行っている活動として、最も回答率が高かったのは「健康に関するもの（健康体操、ウォーキングなど）」（18.9%）で、「スポーツに関するもの（水泳、テニス、剣道、ランニング、その他のスポーツなど）」（16.5%）が続きます。ただし、回答者全体の48.5%は無回答です。

②機会があれば行ってみたい活動として、最も回答率が高かったのも「健康に関するもの」（32.0%）です。次に「家庭生活に役立つ知識・技能に関するもの（料理、編み物、日曜大工など）」（24.3%）が続きます。回答者全体の25.7%は無回答です。

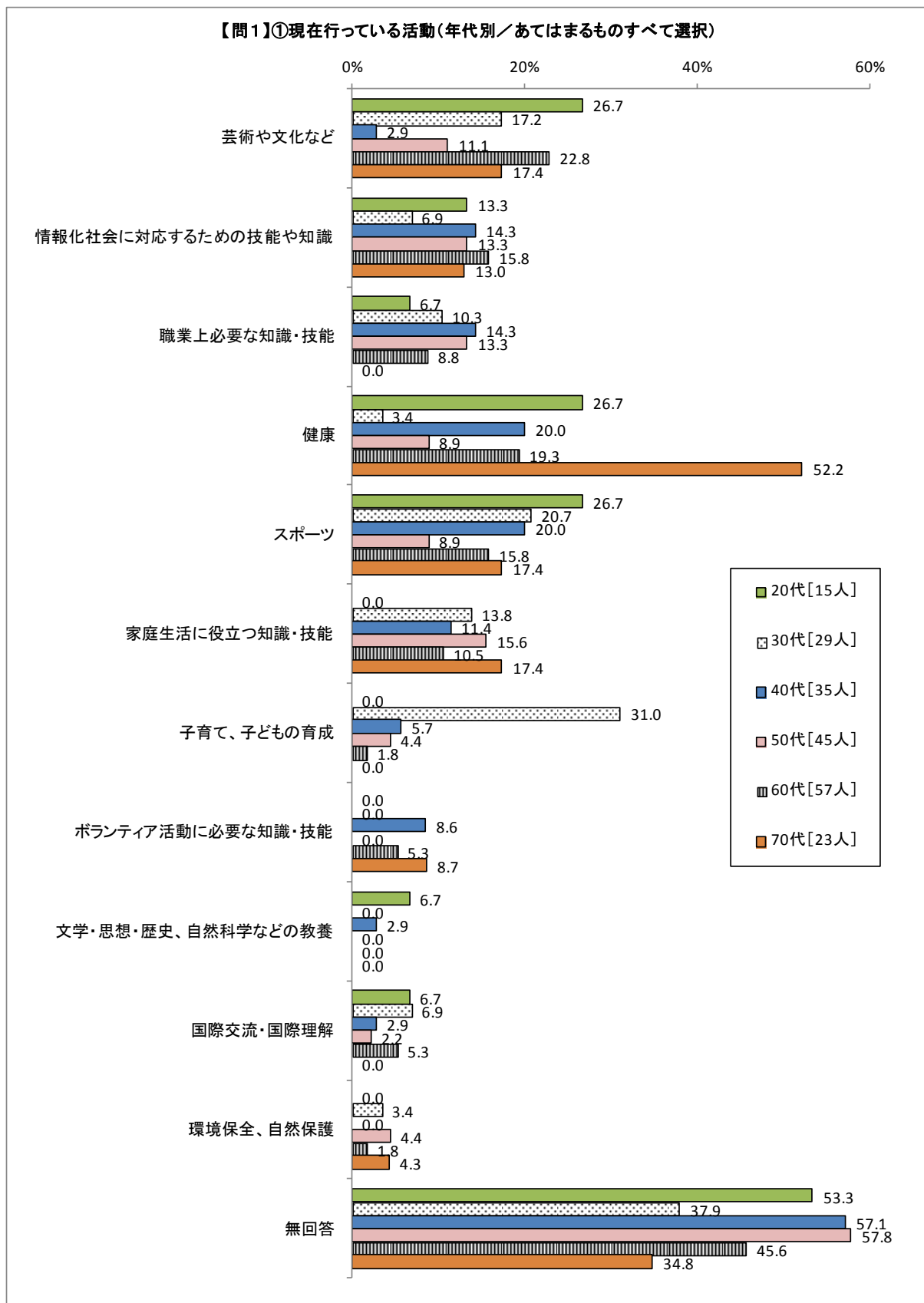


①現在行っている活動について

(無回答を除いて、以下の属性も同様) 性別で比較すると、男性は「情報化社会に対応するための技能や知識を得るもの(パソコンの操作、インターネットの使い方など)」と「スポーツに関するもの」が同率で1位です。女性は「健康に関するもの」が1位、「芸術や文化など(美術、音楽、茶華道、囲碁、踊り、園芸など)」が2位です。



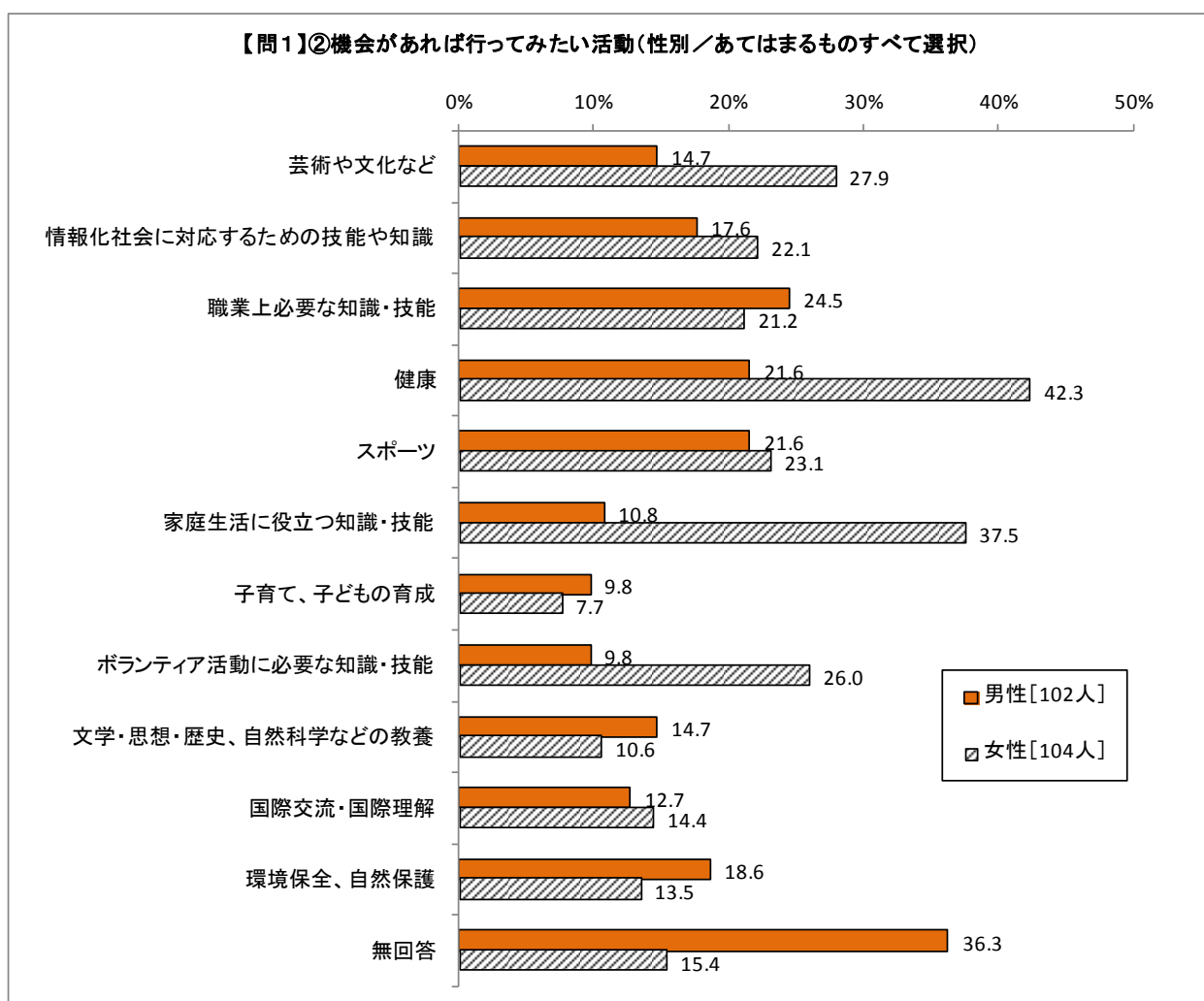
年代別で比較すると、20代は「芸術や文化など」「健康」「スポーツ」（同率）、30代は「子育て、子どもの育成」、40代は「健康」と「スポーツ」（同率）、50代は「家庭生活に役立つ知識・技能」、60代は「芸術や文化など」、70代は「健康」が、それぞれ1位です。



②機会があれば行ってみたい活動について

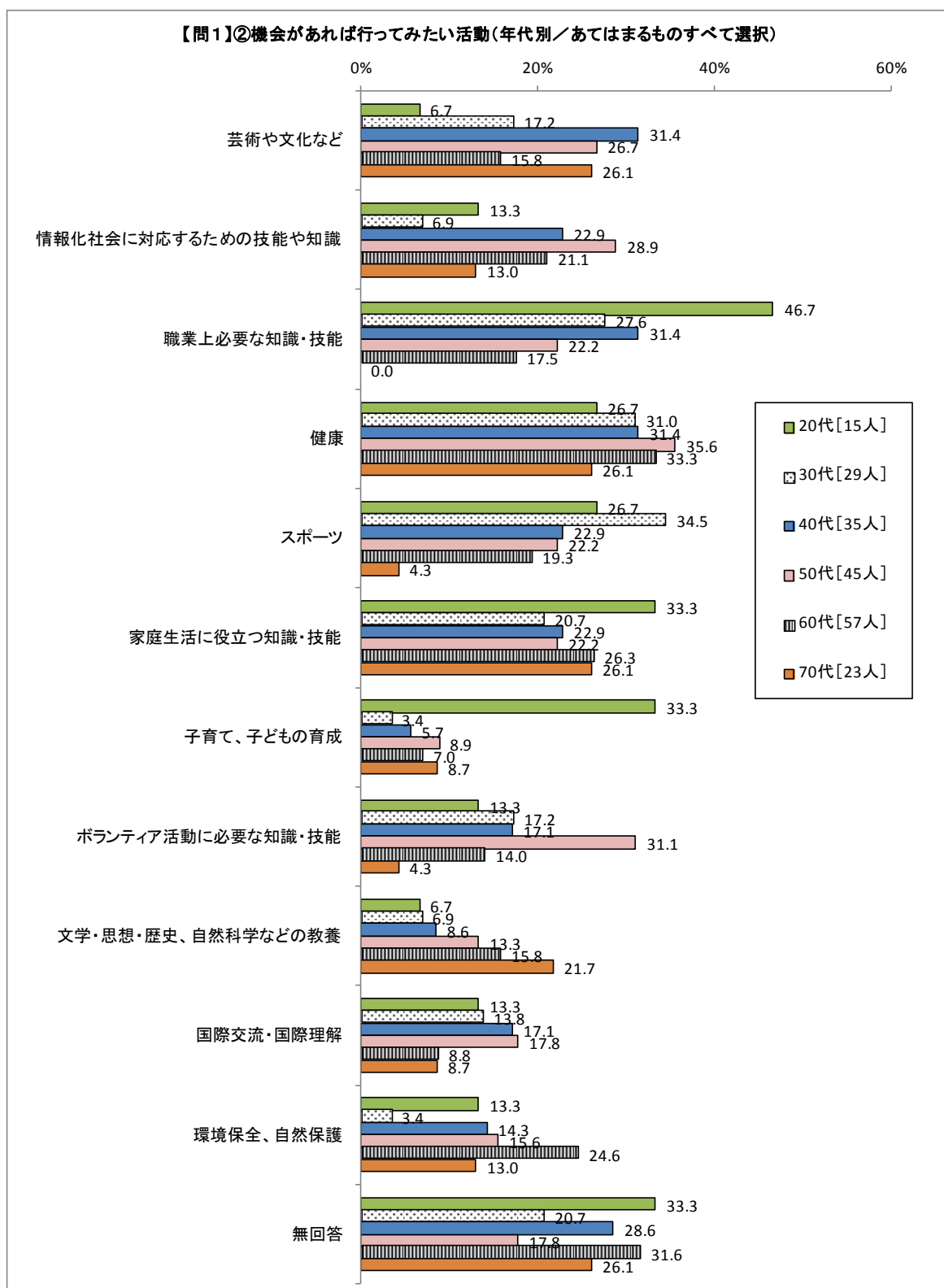
（無回答を除いて、以下の属性も同様）性別で比較すると、男性は「職業上必要な知識・技能」が1位、「健康」と「スポーツ」が同率で2位です。女性は「健康」が1位、「家庭生活に役立つ知識・技能」が2位です。

「芸術や文化など」「健康」「家庭生活に役立つ知識・技能」「ボランティア活動に必要な知識・技能を得るもの（手話、介護技術など）」は、女性の回答率が高く、差がめだちます。



年代別で比較すると、20代は「職業上必要な知識・技能」、30代は「スポーツ」、40代は「芸術や文化など」「職業上必要な知識・技能」「健康」（同率）、50代・60代は「健康」、70代は「芸術や文化など」「健康」「家庭生活に役立つ知識・技能」（同率）が、それぞれ1位です。

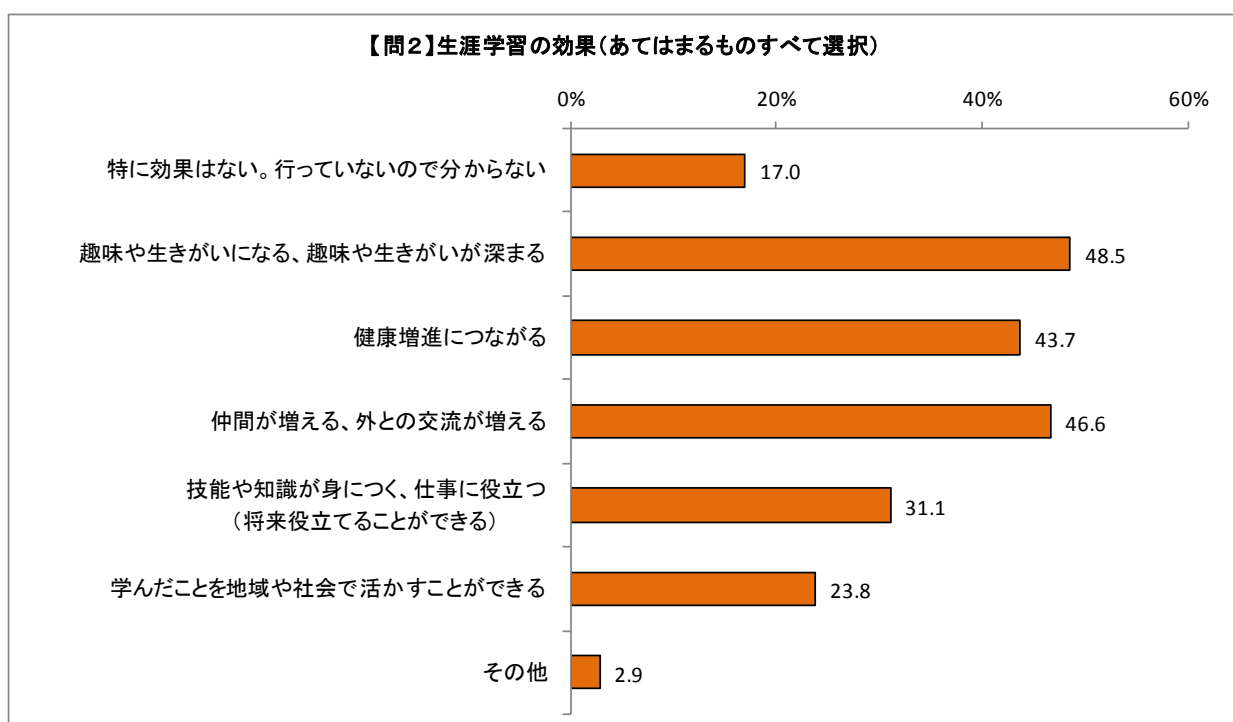
「職業上必要な知識・技能」や「子育て、子どもの育成に関するもの（育児、子どもの遊び、本の読み聞かせ、教育問題など）」は20代、「ボランティア活動に必要な知識・技能」は50代の回答率が高く、差がめだちます。



【問2】生涯学習の効果

問1のような活動を行うことで、ご自身にとって、どのような効果がありますか（効果を期待していますか）。あてはまるものすべてに○をつけてください。

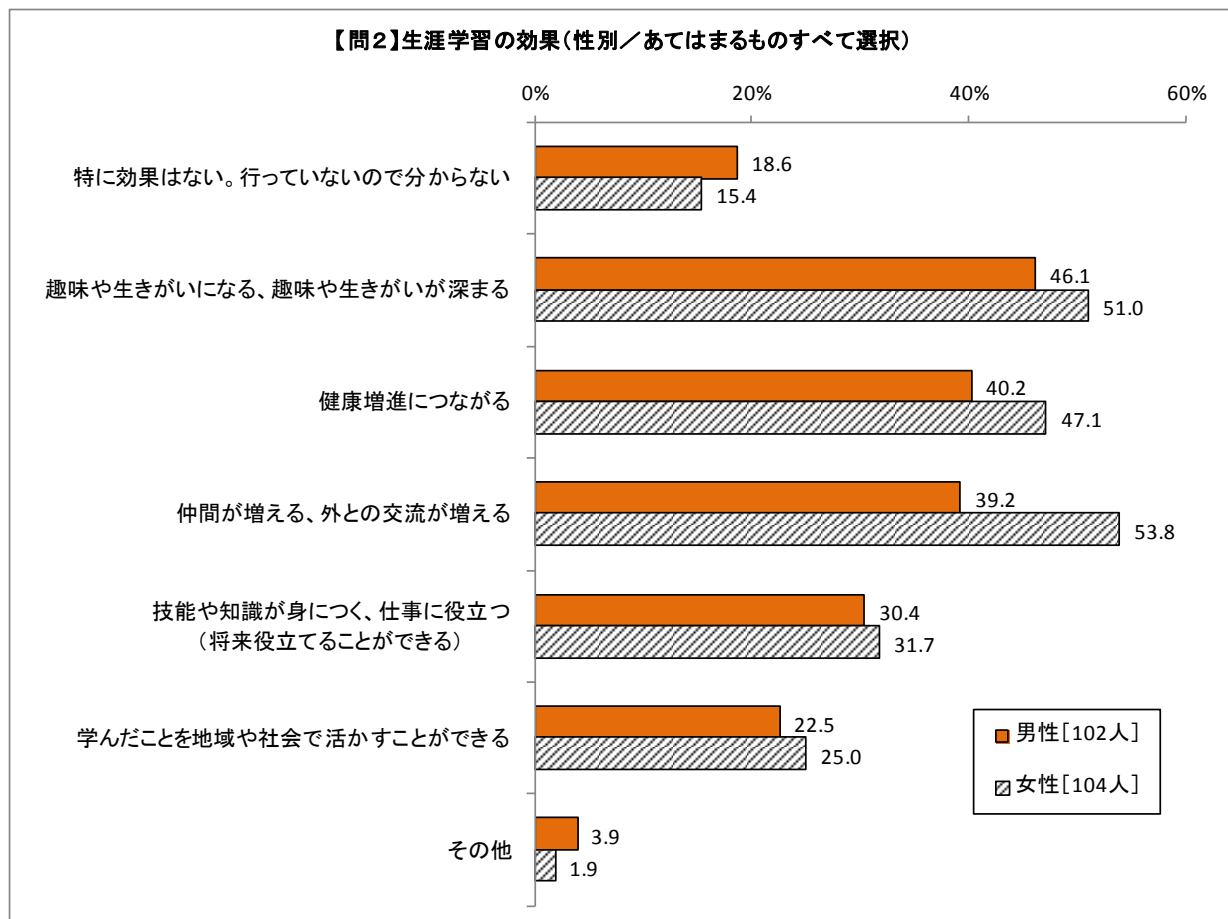
「趣味や生きがいになる、趣味や生きがいが深まる」（48.5%）が最も高く、「仲間が増える、外との交流が増える」（46.6%）、「健康増進につながる」（43.7%）が僅差で続きます。



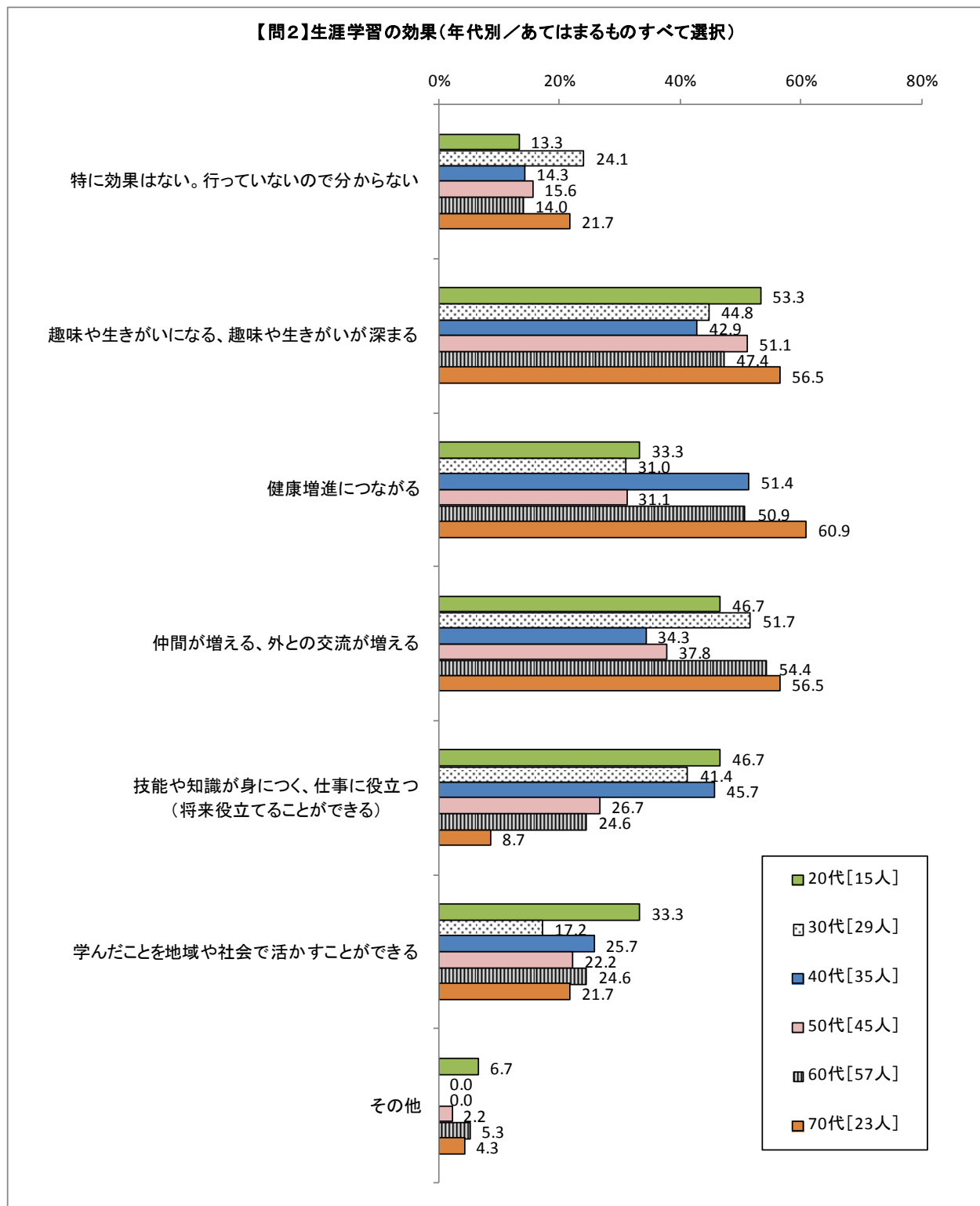
※「その他」の内容

- ・なにもしてなく、出来るうちになんでもやって見たいと思うがなかなか…。面倒が先になってしまう。
- ・何かに活かそうとかいう思いで行っているのではなく自分にとって必要なもの、または社会生活の中で自分ができることはやるということは当然のことだと思って行動している。
- ・子供に夢を与える。
- ・生活リズムを作るため。
- ・日常生活の動作に生かされる。

性別で比較すると、男性は「趣味や生きがいになる、趣味や生きがいが深まる」、女性は「仲間が増える、外との交流が増える」が、それぞれ1位です。上位3項目は男女とも同じですが、いずれも女性の回答率が高く、特に「仲間が増える、外との交流が増える」は男女の差がめだちます。



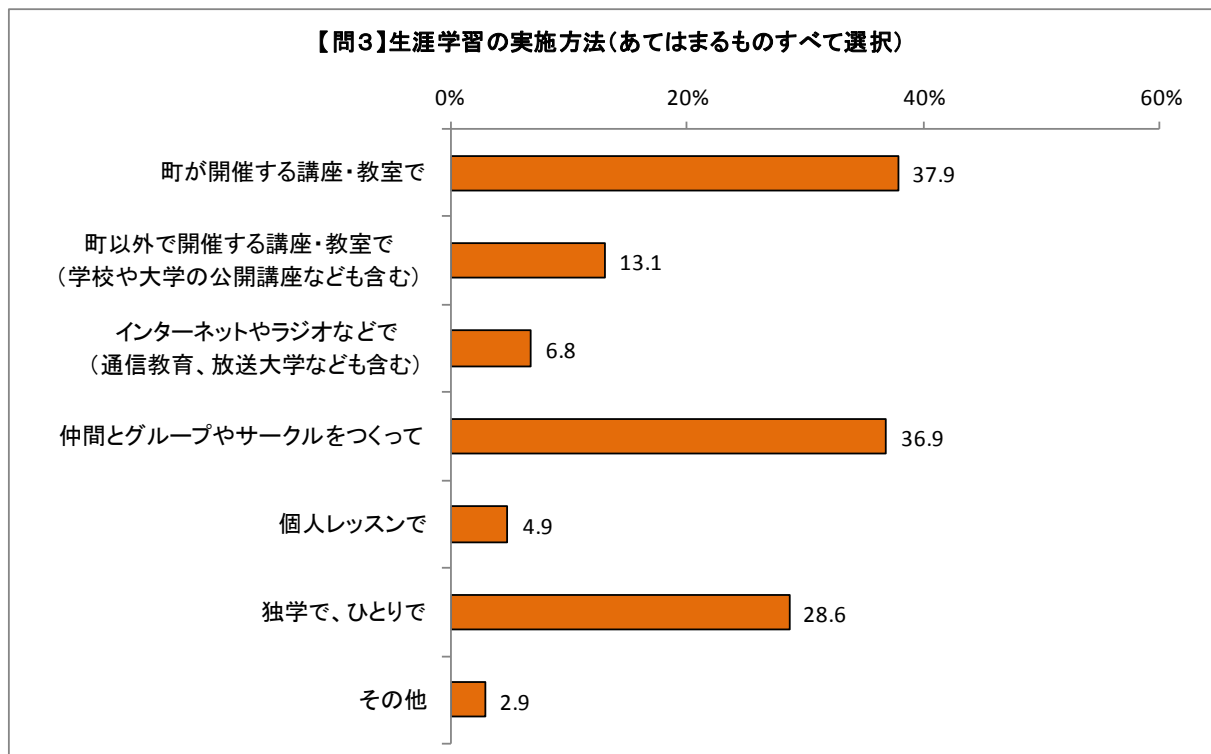
年代別で比較すると、20代・50代は「趣味や生きがいになる、趣味や生きがい deepen」、30代・60代は「仲間が増える、外との交流が増える」、40代と70代は「健康増進につながる」が、それぞれ1位です。



【問3】生涯学習の実施方法

問1のような活動を、どのような方法で行っていますか（行いたいと思いますか）。あてはまるものすべてに○をつけてください。

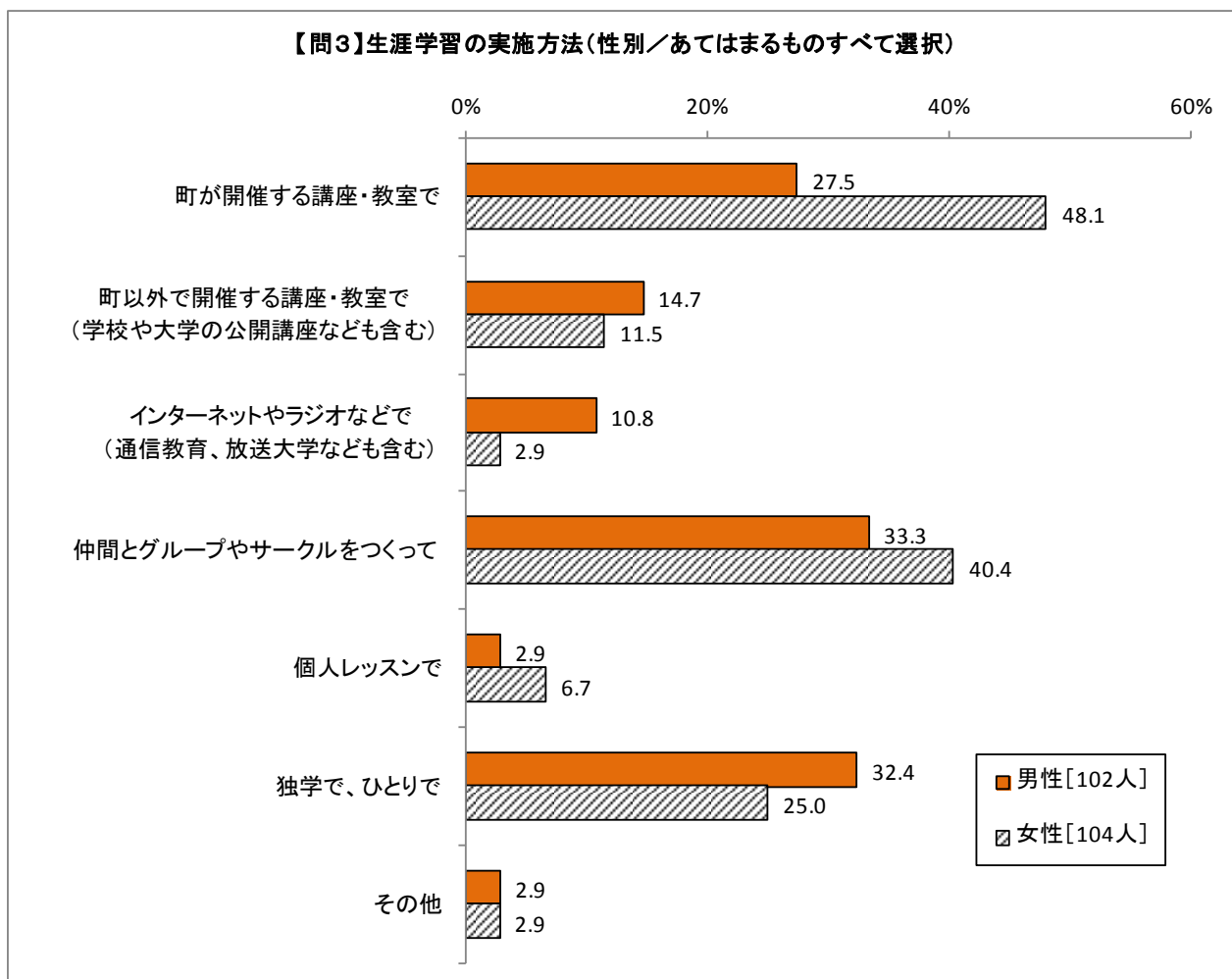
「町が開催する講座・教室で」（37.9%）が最も高く、「仲間とグループやサークルをつくって」（36.9%）が僅差で続きます。次に「独学で、ひとりで」（28.6%）が続きます。



※「その他」の内容

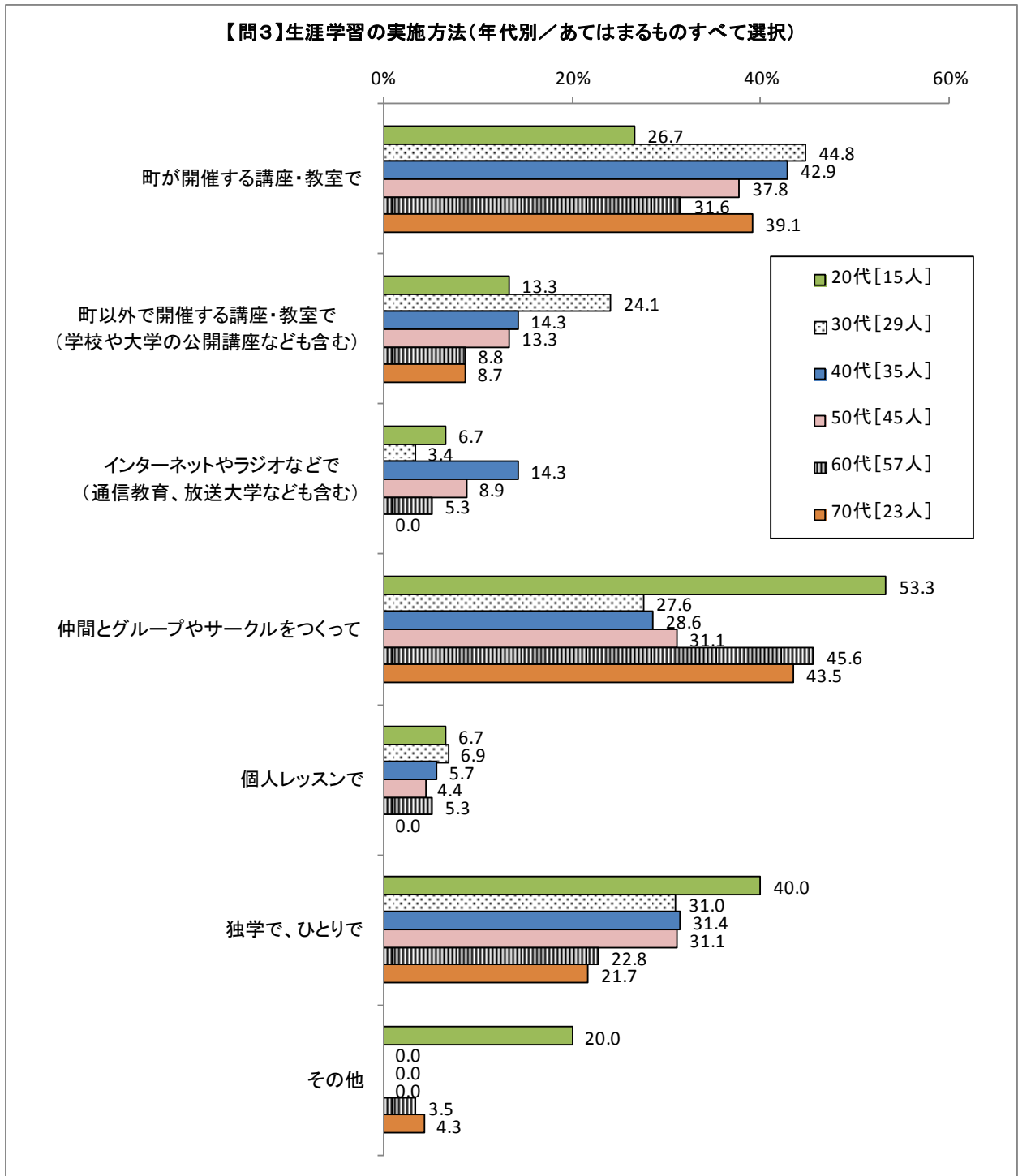
- ・お寺で。
- ・家族で行いたい。
- ・家族と一緒に。
- ・健康センターのジムを利用。
- ・西原学園の活動として。

性別で比較すると、男性は「仲間とグループやサークルをつくって」、女性は「町が開催する講座・教室で」が、それぞれ1位です。上位3項目は男女とも同じですが、「町が開催する講座・教室で」は女性の回答率が高く、男女の差がめだちます。



年代別で比較すると、20代・60代・70代は「仲間とグループやサークルをつかって」、30代・40代・50代は「町が開催する講座・教室で」が、それぞれ1位です。

「町以外で開催する講座・教室で（学校や大学の公開講座なども含む）」は30代、「その他」は20代の回答率が高く、差がめだちます。

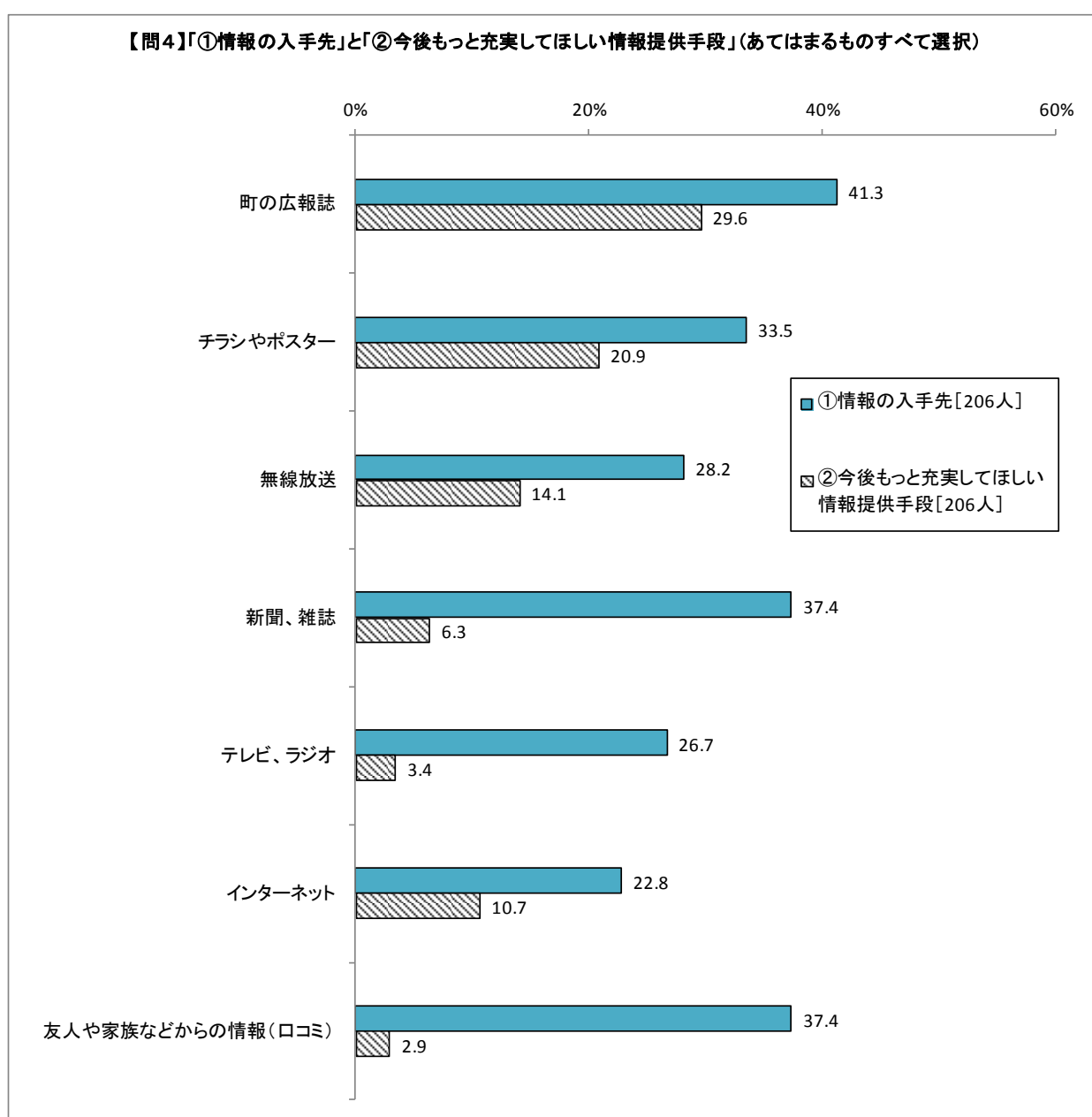


【問4】情報の入手先、今後もっと充実してほしい情報提供手段

学習やスポーツなどに関する情報を、どこから入手していますか。また、今後もっと充実してほしい（利用したい）情報提供手段はどれですか。それぞれ○をつけてください。

①情報の入手先として、最も回答率が高かったのは「町の広報誌」（41.3%）で、「新聞、雑誌」と「友人や家族などからの情報（口コミ）」が同率（37.4%）で続きます。

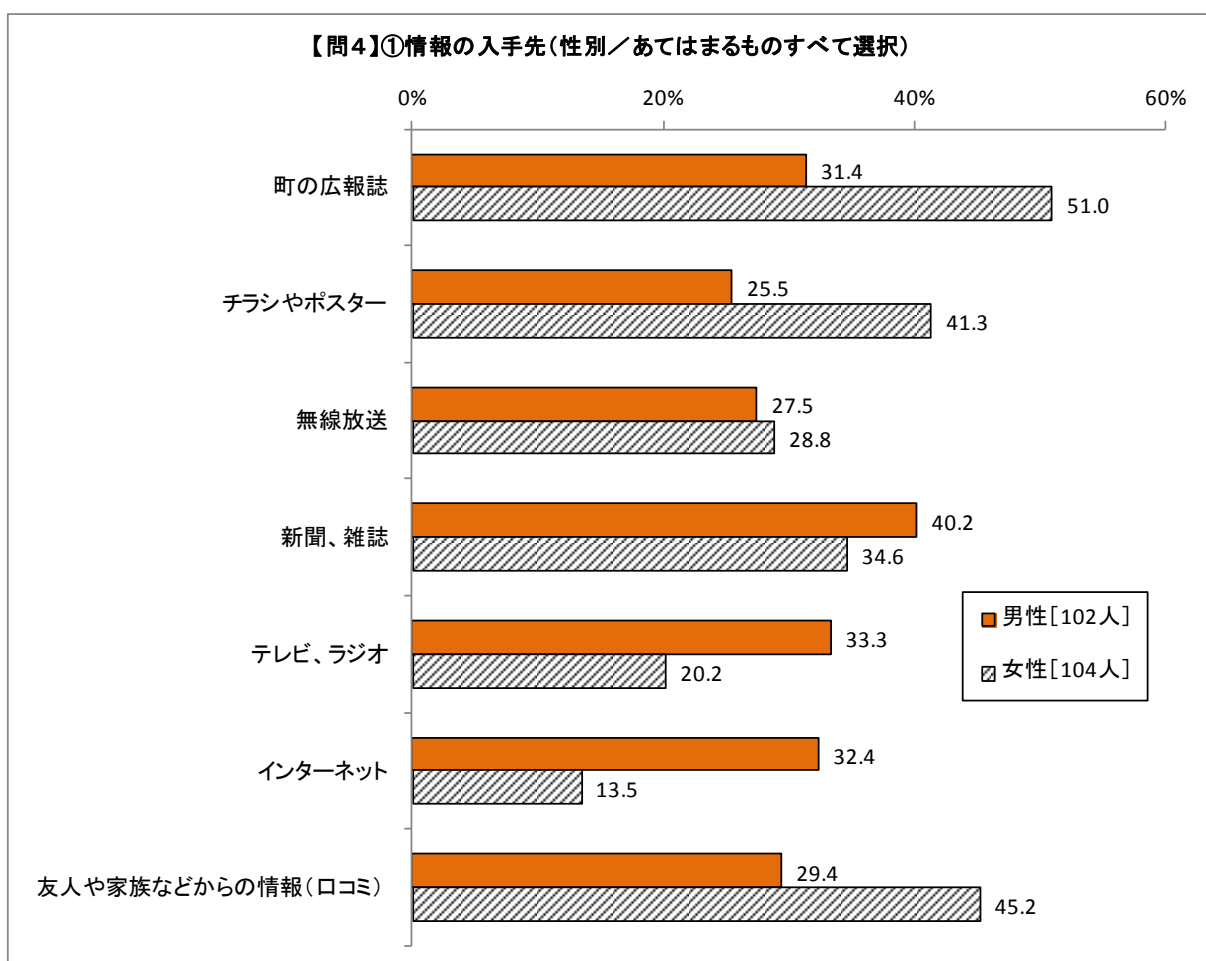
②今後もっと充実してほしい情報提供手段として、最も回答率が高かったのも「町の広報誌」です。次に「チラシやポスター」（20.9%）が続きます。



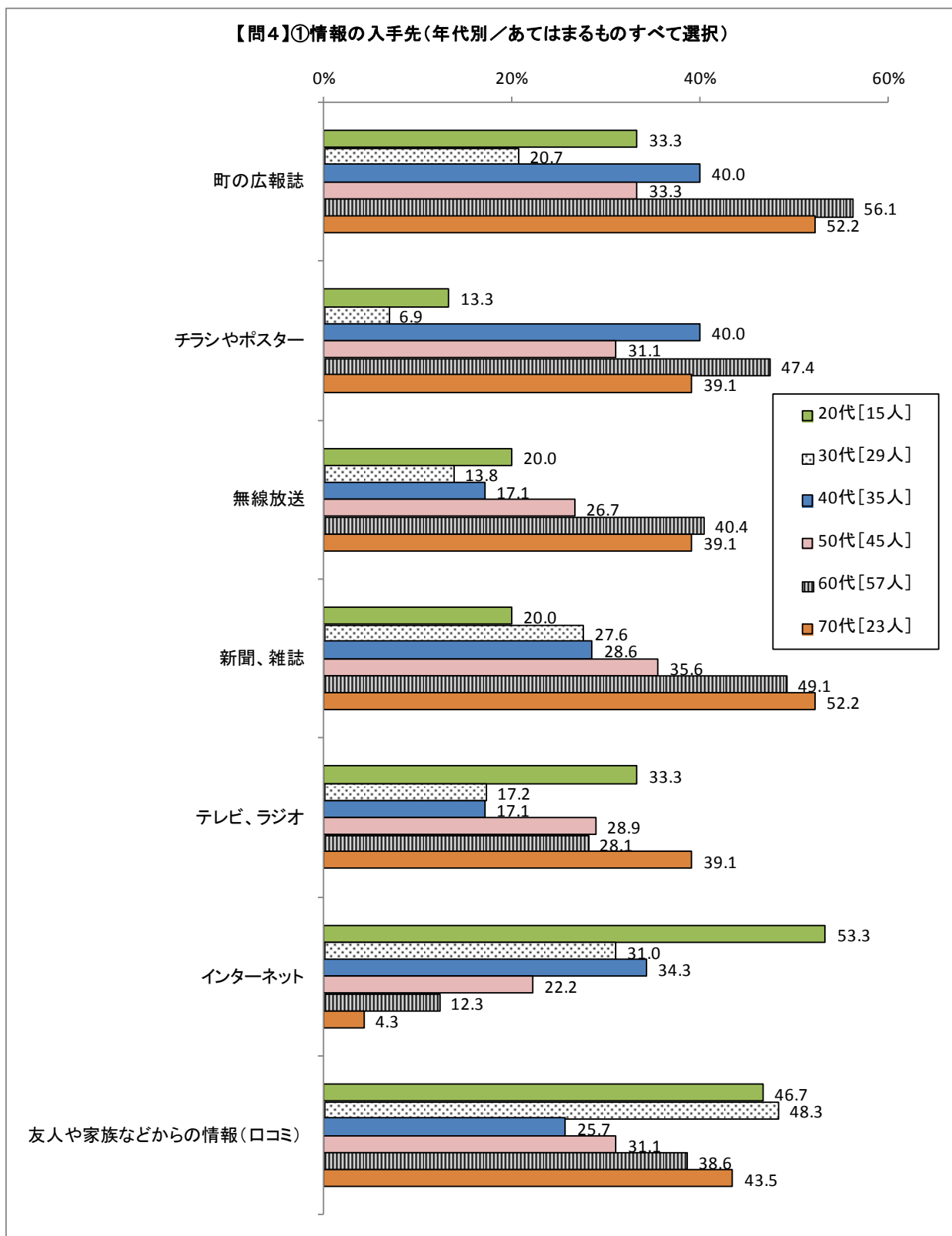
①情報の入手先について

性別で比較すると、男性は「新聞、雑誌」が1位で、「テレビ、ラジオ」、「インターネット」が僅差で続きます。女性は「町の広報誌」が1位で、「友人や家族などからの情報（口コミ）」が2位、「チラシやポスター」が3位です。

「テレビ、ラジオ」と「インターネット」は男性、「町の広報誌」「チラシやポスター」「友人や家族などからの情報（口コミ）」は女性の回答率が高く、男女の差がめだちます。

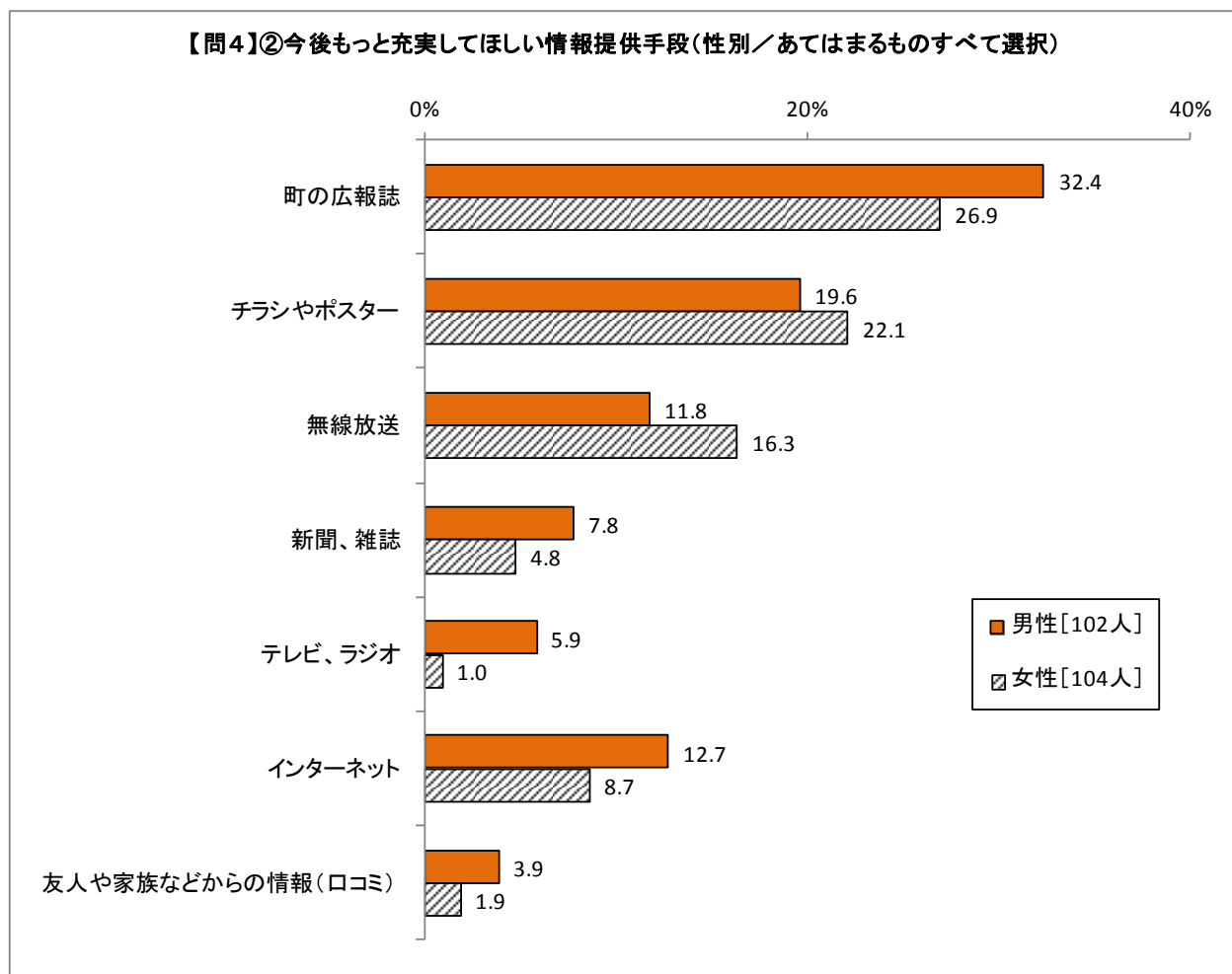


年代別で比較すると、20代は「インターネット」、30代は「友人や家族などからの情報（口コミ）」、40代は「町の広報誌」と「チラシやポスター」（同率）、50代は「新聞、雑誌」、60代は「町の広報誌」、70代は「町の広報誌」と「新聞、雑誌」（同率）が、それぞれ1位です。

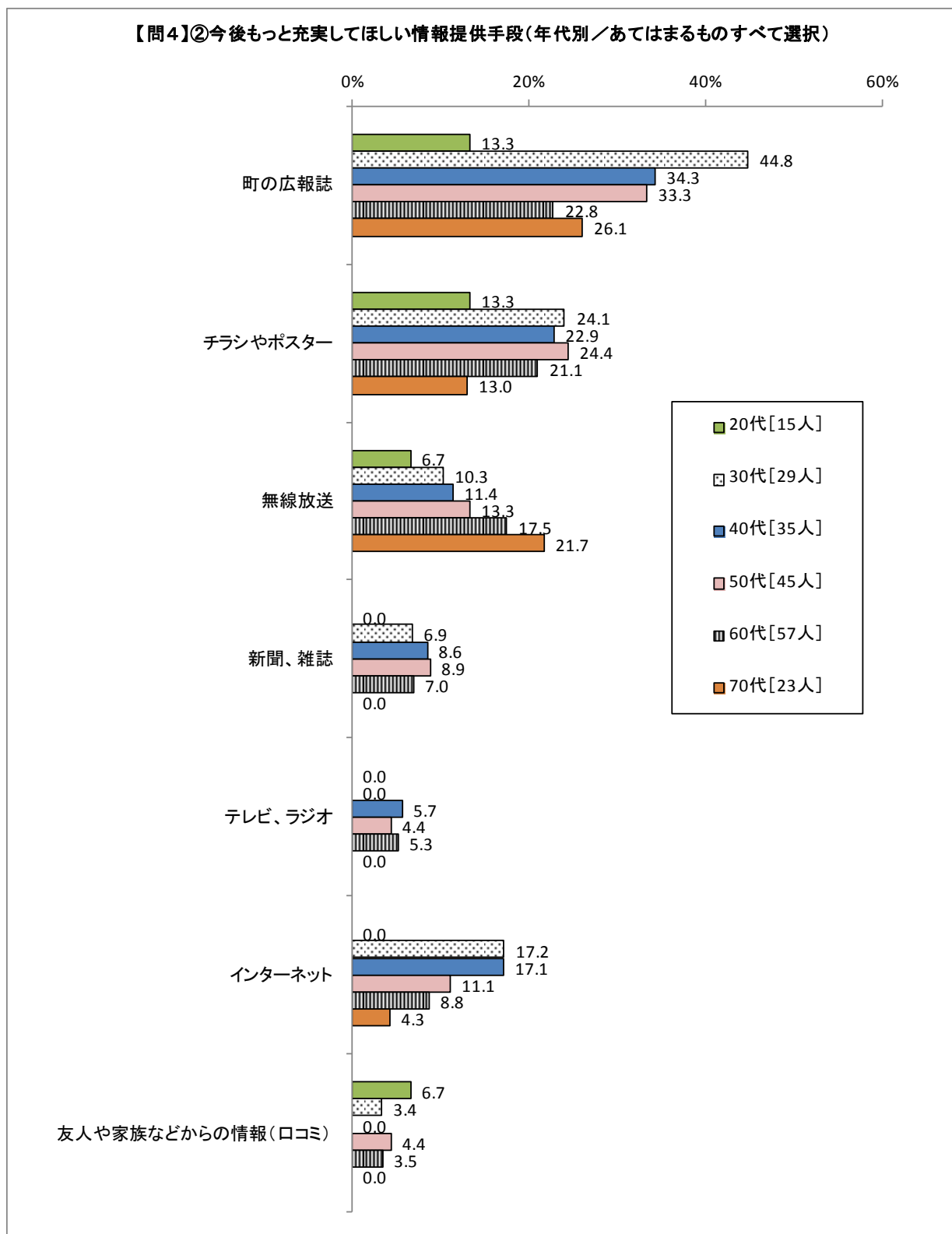


②今後もっと充実してほしい情報提供手段について

性別で比較すると、男女とも「町の広報誌」が1位、「チラシやポスター」が2位です。3位は、男性は「インターネット」、女性は「無線放送」です。



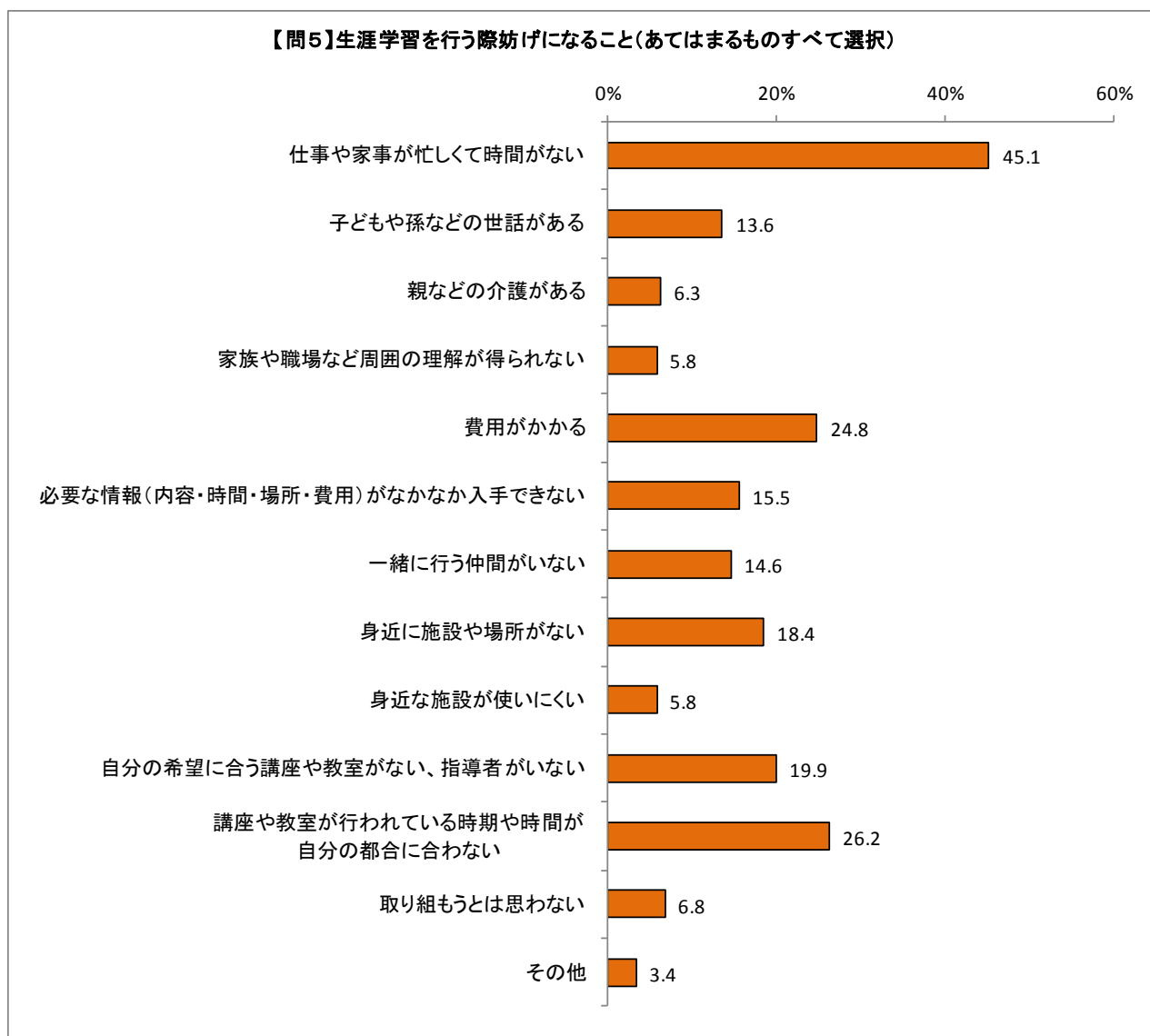
年代別で比較すると、20代は「町の広報誌」と「チラシやポスター」（同率）、30代以上は「町の広報誌」が、それぞれ1位です。



【問5】生涯学習を行う際妨げになること

学習やスポーツを行いたいとき、どのようなことが妨げになりますか（なると思いますが）。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「仕事や家事が忙しくて時間がない」（45.1%）が最も高く、やや間をあけて、「講座や教室が行われている時期や時間が自分の都合に合わない」（26.2%）、「費用がかかる」（24.8%）が僅差で続きます。



※「身近な施設が使いにくい」の具体的な内容

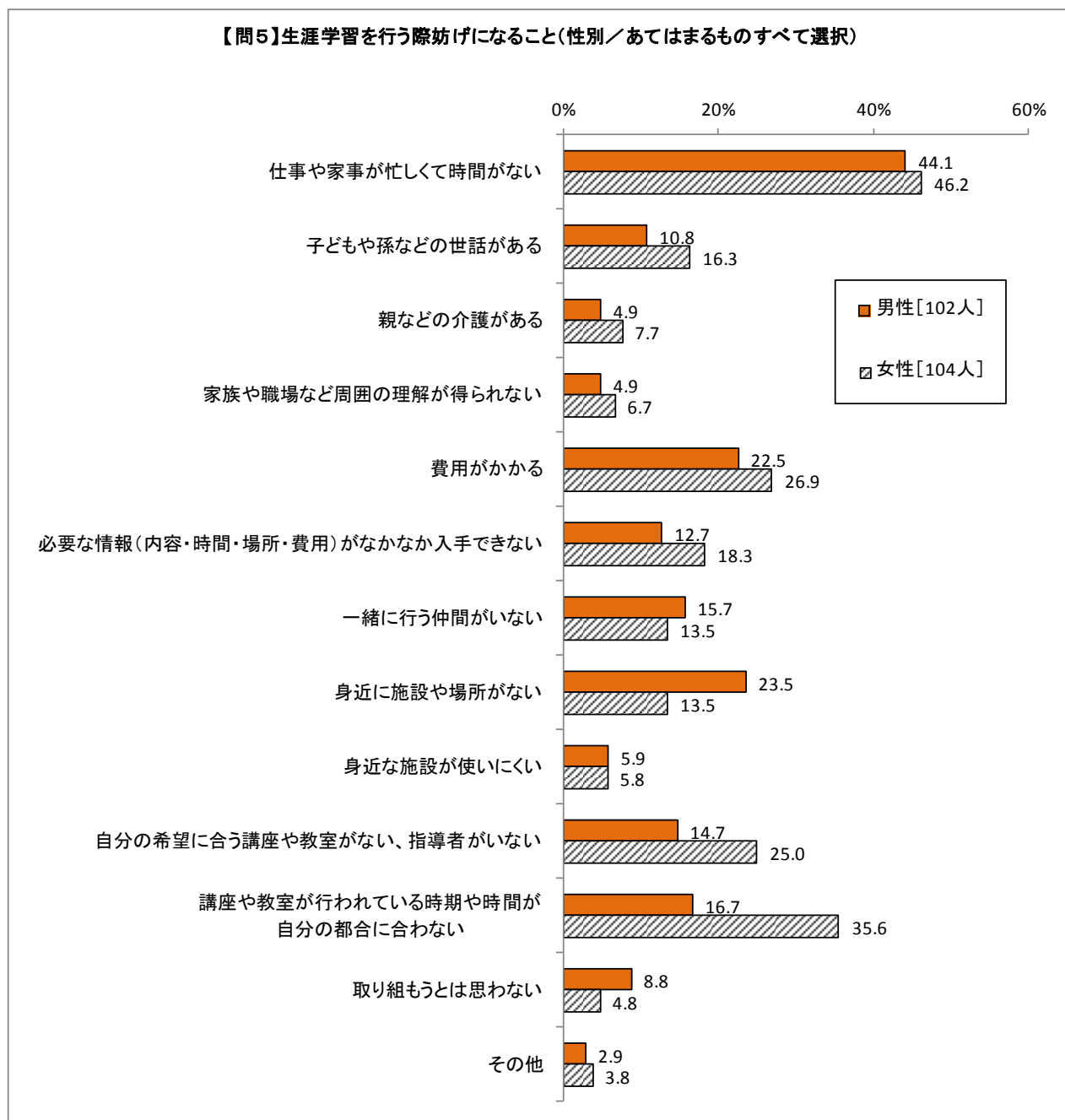
- ・いつ空いているのかとか申請の仕方や借り方がよくわからない。
- ・健康センターに行くとも老人の常連者が占領して使いづらい。 ・使いたい時に貸し切られている。
- ・自由開放日が解らない。 ・手続きが必要。 ・雰囲気など。

※「その他」の内容

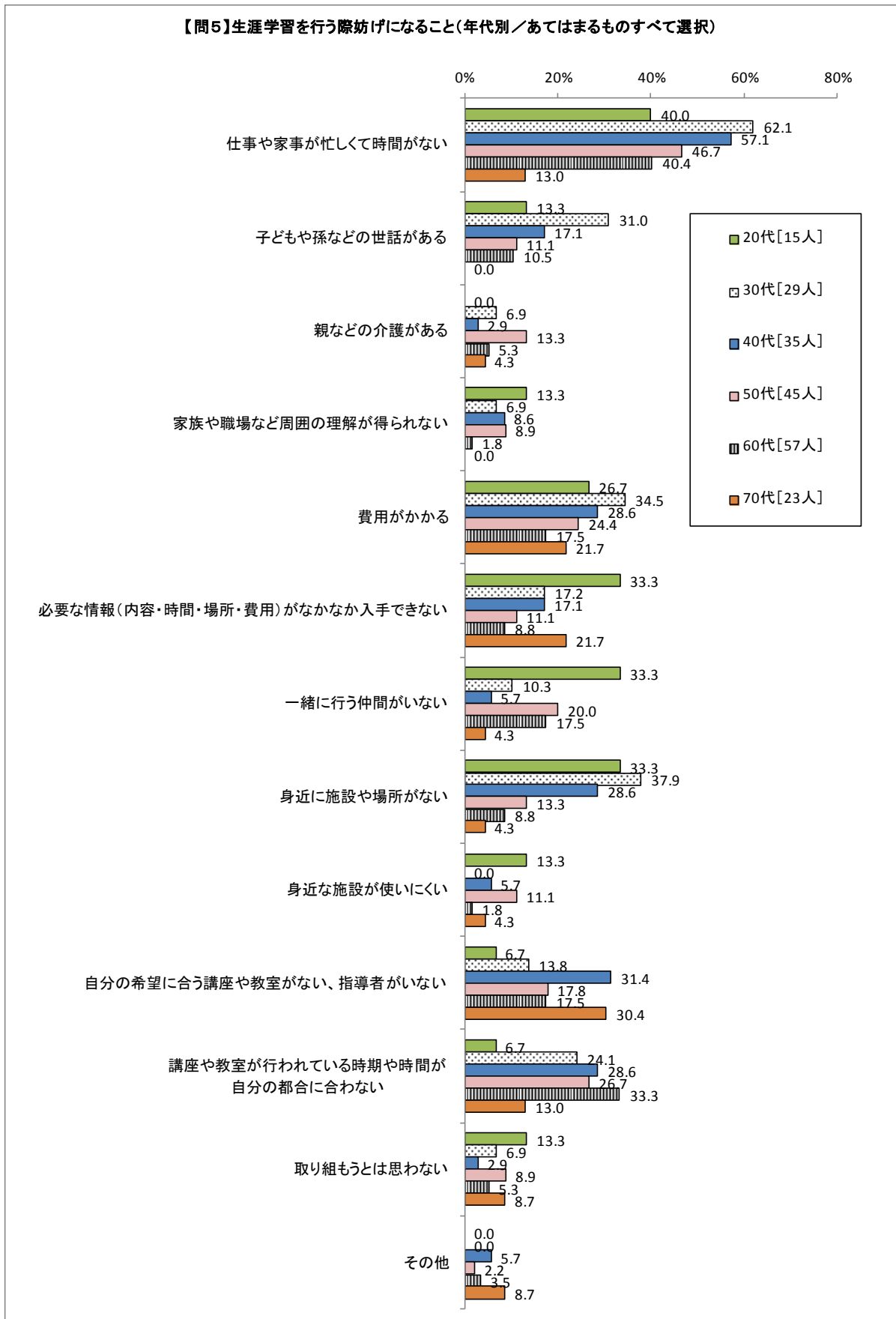
- ・健康上の問題。 ・年齢と交通の便等（運転免許ないので）。
- ・年齢的なものもありスポーツはウォーキングが精いっぱい。 ・自分なりにこつこつやる。
- ・自分の中での意識改革が必要に感じます。 何かに夢中にとり組みたいと感じられれば。

性別で比較すると、男女とも「仕事や家事が忙しくて時間がない」が1位です。2位は、男性は「身近に施設や場所がない」、女性は「講座や教室が行われている時期や時間が自分の都合に合わない」です。

「身近に施設や場所がない」は男性、「自分の希望に合う講座や教室がない、指導者がいない」と「講座や教室が行われている時期や時間が自分の都合に合わない」は女性の回答率が高く、男女の差がめだちます。



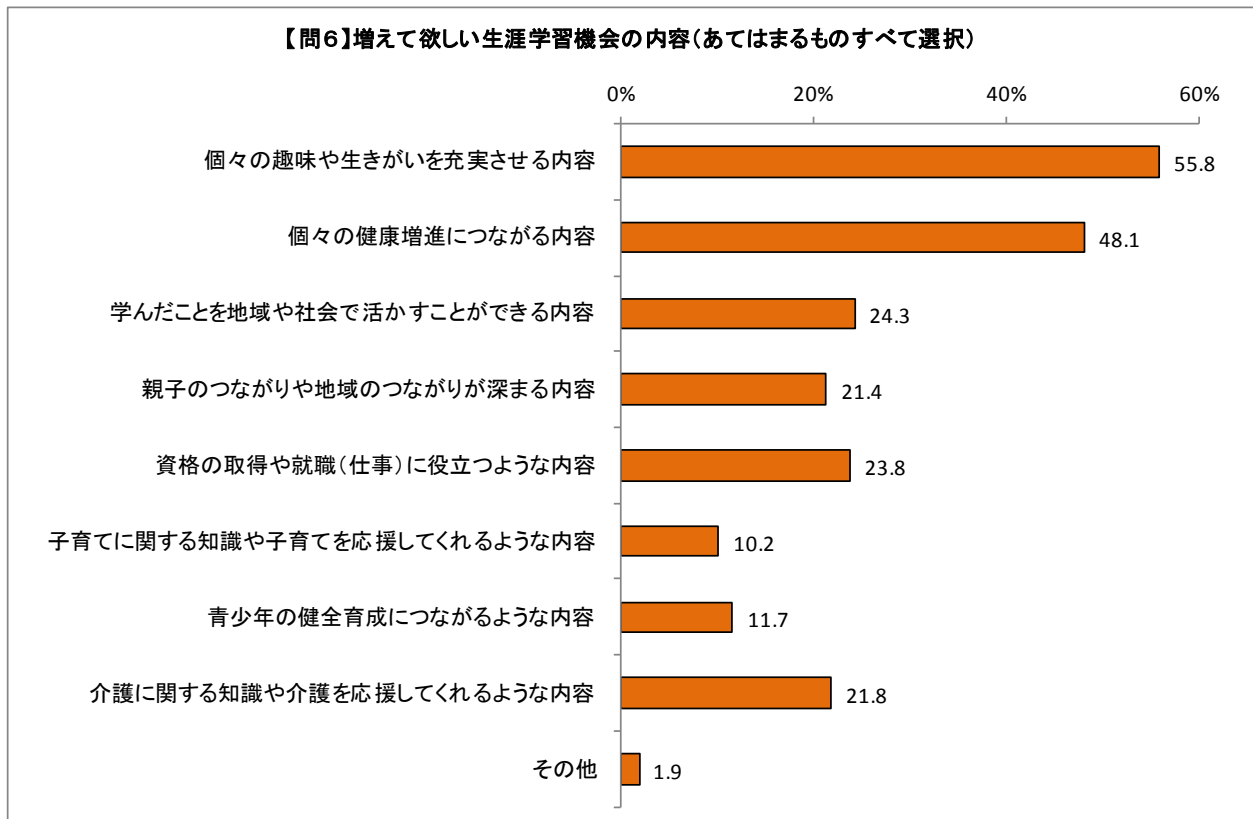
年代別で比較すると、20代から60代までは「仕事や家事が忙しくて時間がない」、70代は「自分の希望に合う講座や教室がない、指導者がいない」が、それぞれ1位です。「一緒に行く仲間がいない」は20代の回答が高く、差がめだちます。



【問6】 増えて欲しい生涯学習機会の内容

町が講座や教室、イベントなどを開催する場合、どのような内容が増えるとよいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「個々の趣味や生きがいを充実させる内容」（55.8%）が最も高く、「個々の健康増進につながる内容」（48.1%）が続きます。

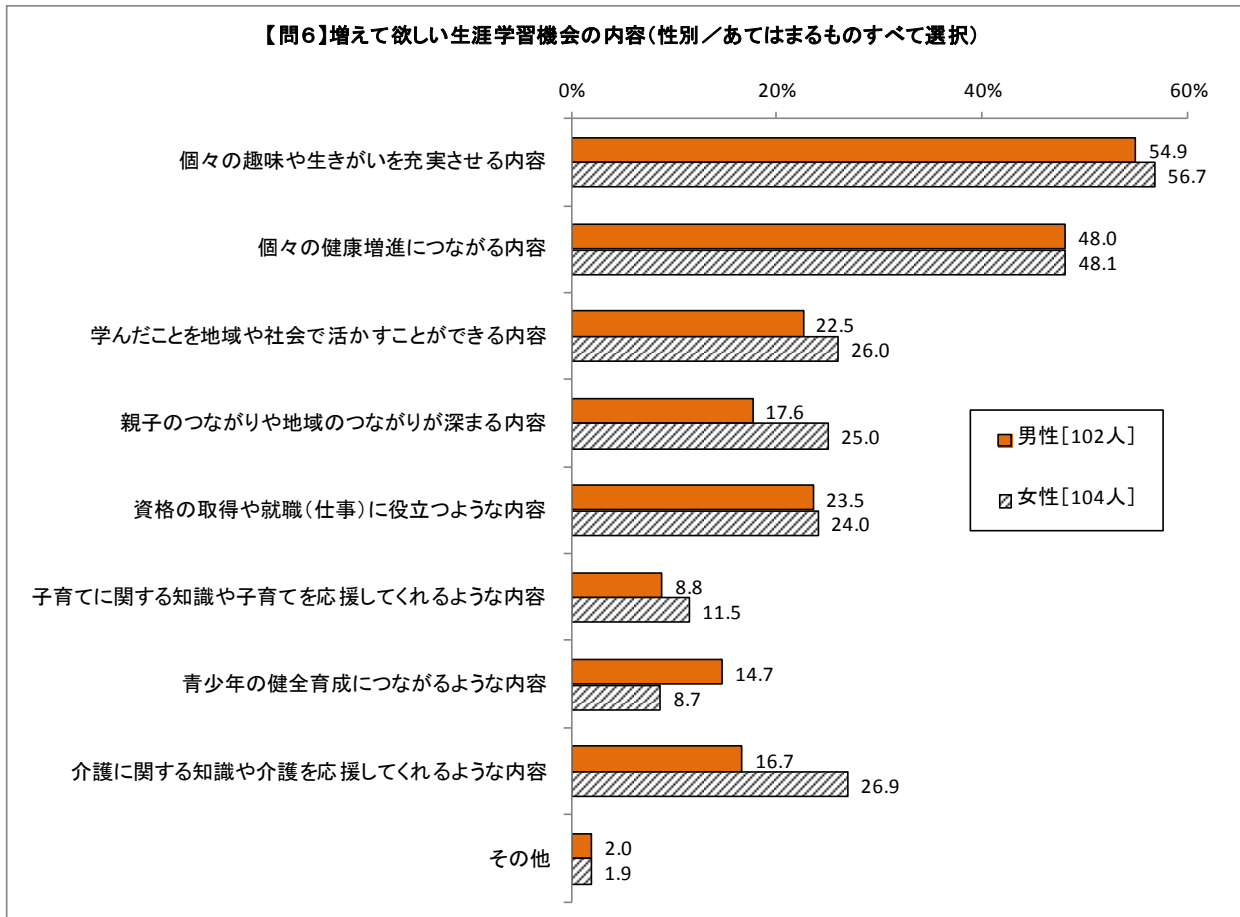


※「その他」の内容

- ・コンサート（札幌など）。
- ・相続についての内容（手続きの仕方など）。
- ・美容とお洒落に関すること。
- ・知的所有権。

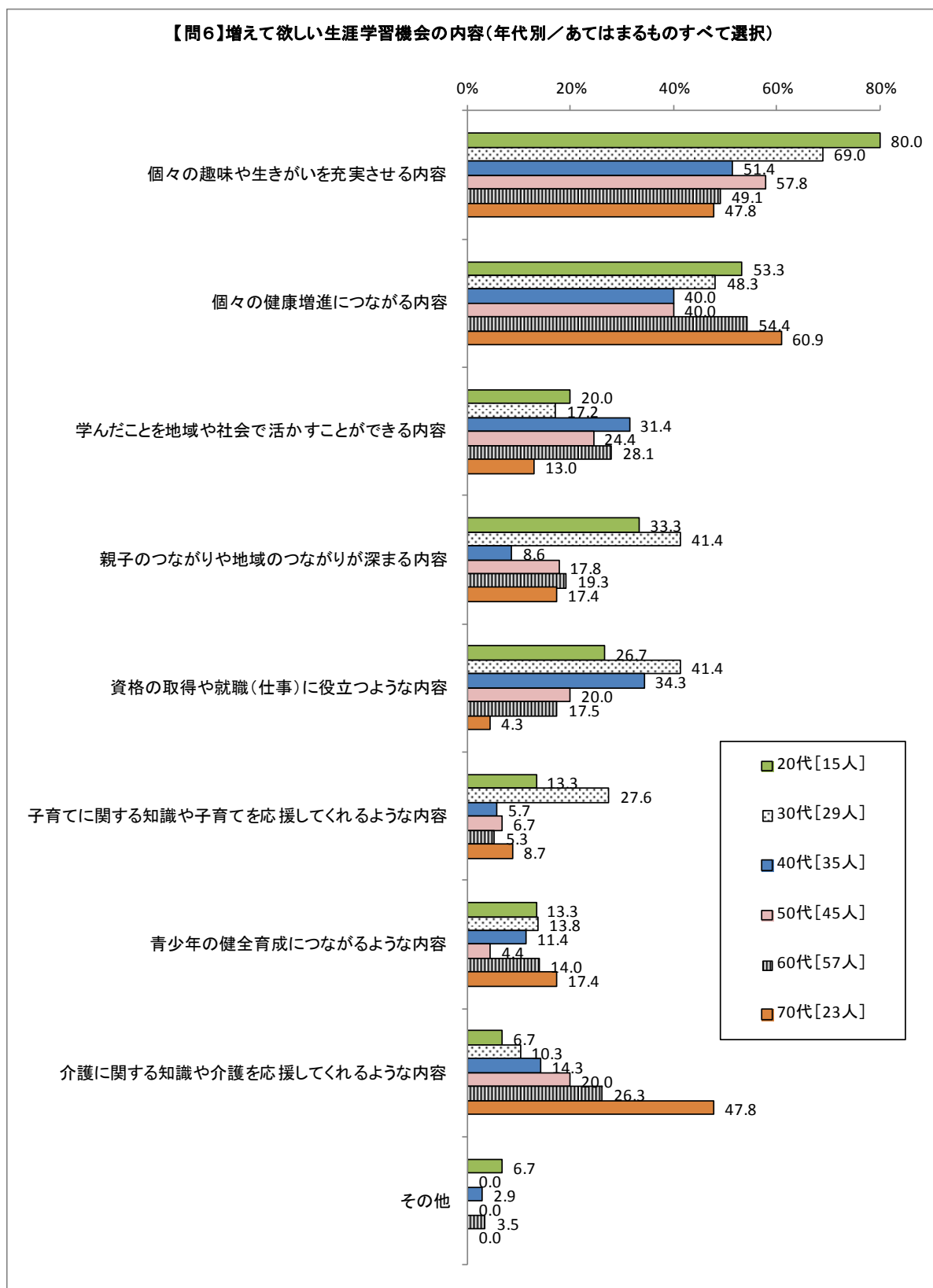
性別で比較すると、男女とも「個々の趣味や生きがいを充実させる内容」が1位、「個々の健康増進につながる内容」が2位です。

「介護に関する知識や介護を応援してくれるような内容」は女性の回答率が高く、男女の差がめだちます。



年代別で比較すると、20代から50代までは「個々の趣味や生きがいを充実させる内容」、60代と70代は「個々の健康増進につながる内容」が、それぞれ1位です。

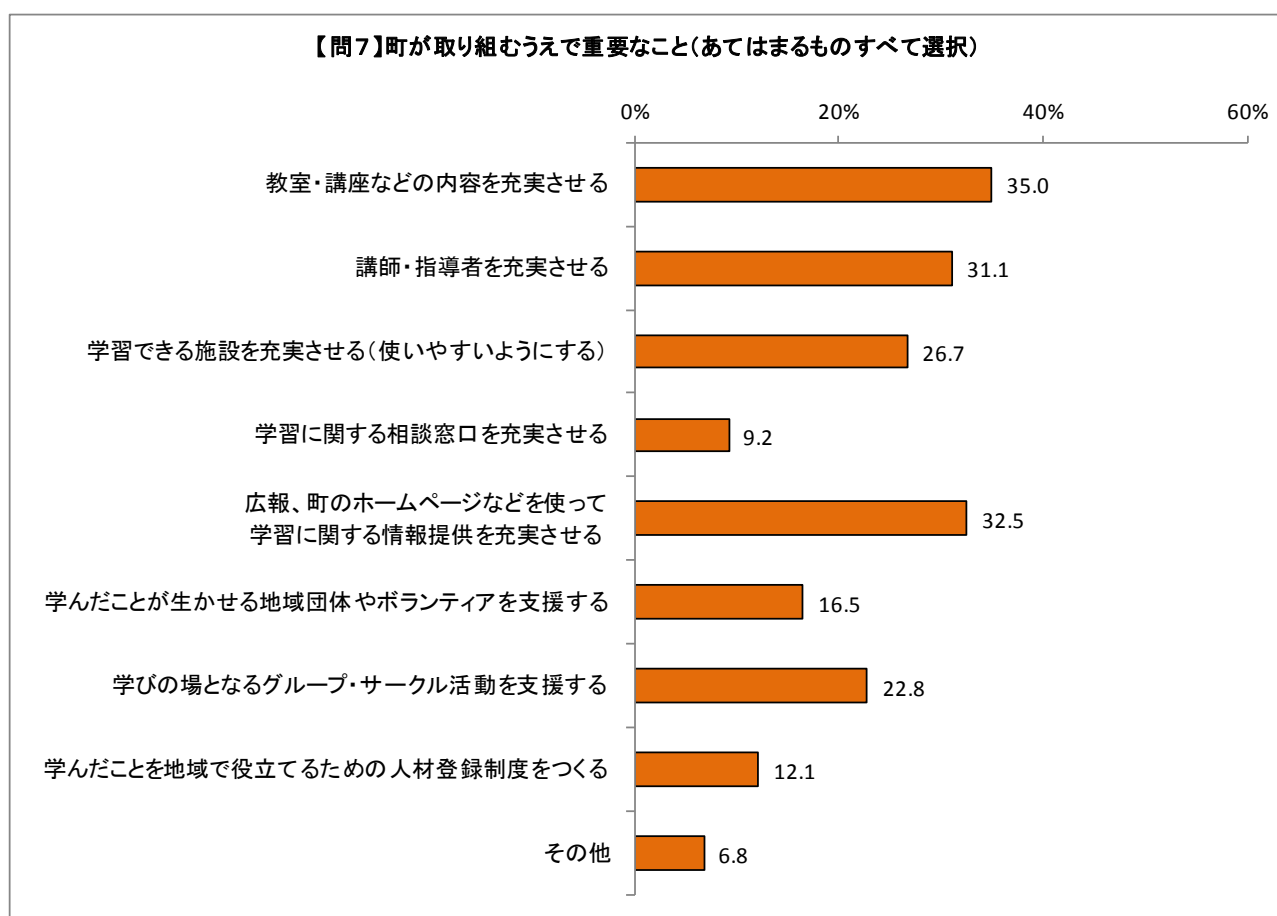
「親子のつながりや地域のつながりが深まる内容」は20代と30代で高く、「介護に関する知識や介護を応援してくれるような内容」は、年代が高まるにつれて回答率が高くなります。



【問7】町が取り組むうえで重要なこと

多くの人が講座や教室、活動などに参加しやすいよう、町が取り組む場合、どのようなことが重要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「教室・講座などの内容を充実させる」(35.0%)が最も高く、「広報、町のホームページなどを使って学習に関する情報提供を充実させる」(32.5%)、「講師・指導者を充実させる」(31.1%)が僅差で続きます。

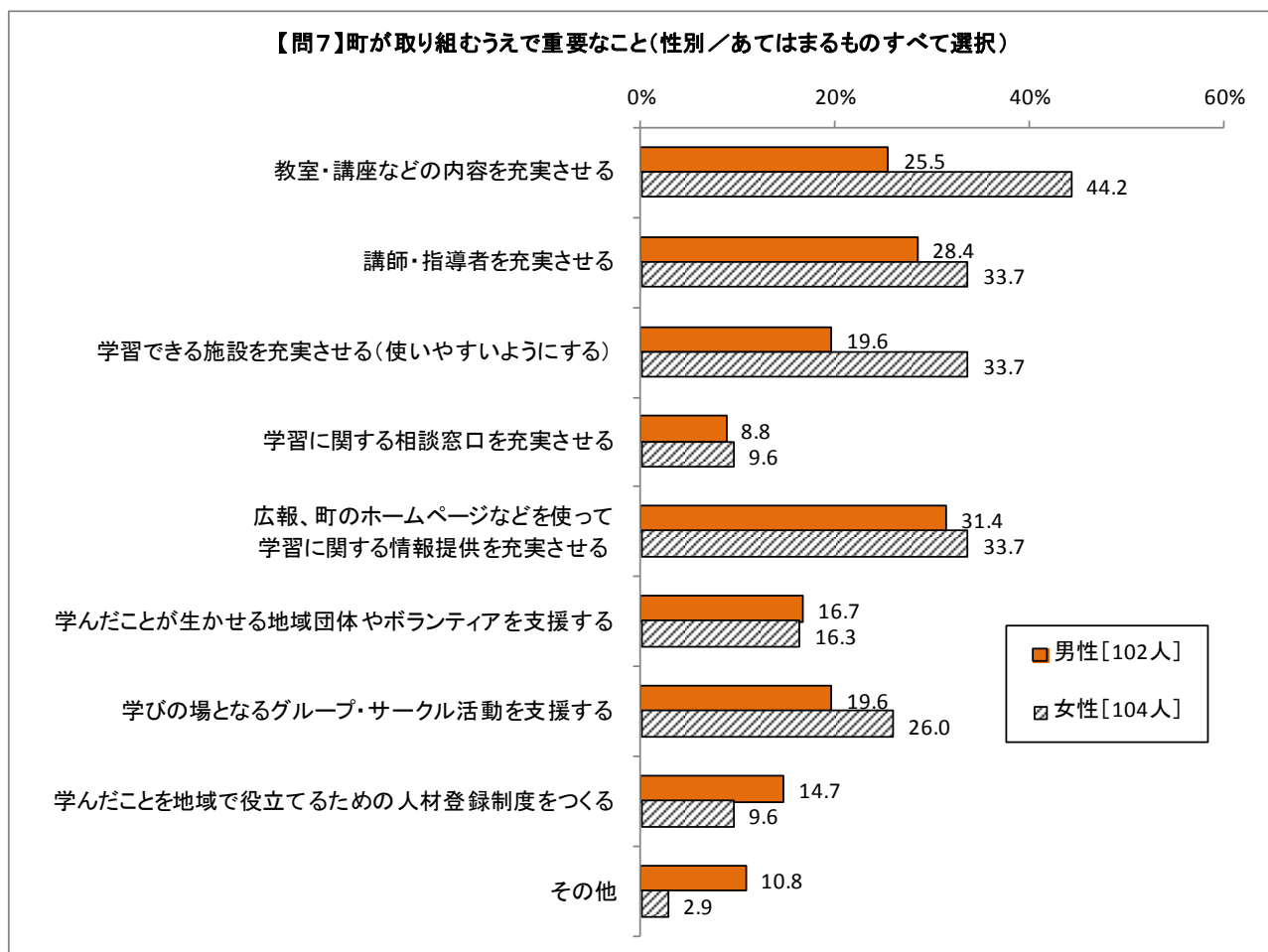


※「その他」の内容

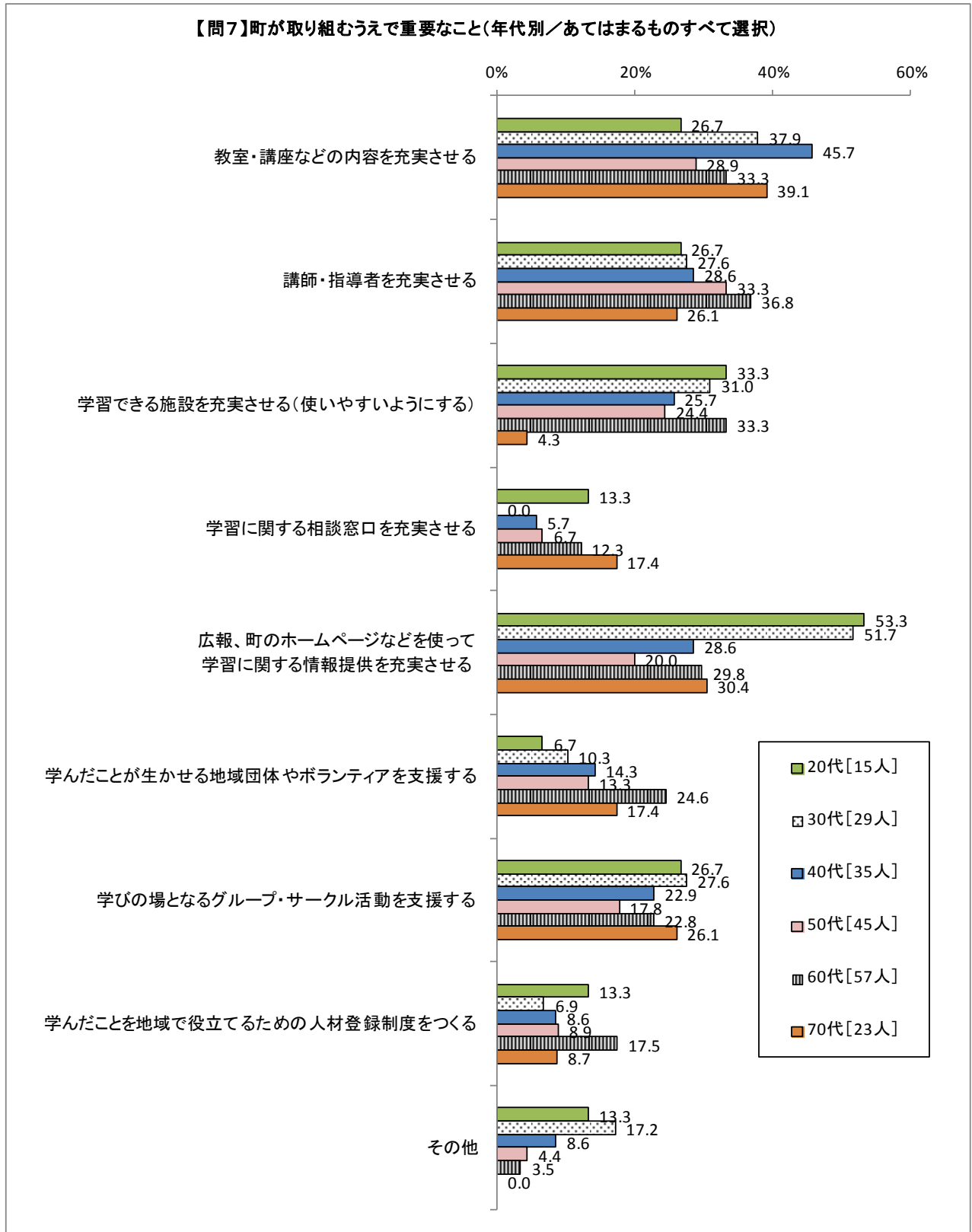
- ・ 時期、時間を考えて頂きたい。
- ・ 自治会での講座。
- ・ 自分の趣味でとどまらないように何かに活かせないか考えられるような取組を行ってほしい。
- ・ 積極的に参加してもらいたいという熱意。
- ・ 早めの周知と他イベント(行事)等との調整。重複しないように!
- ・ 町民からの意見の吸い上げ。町民が受け身ばかりでは…

性別で比較すると、男性は「広報、町のホームページなどを使って学習に関する情報提供を充実させる」、女性は「教室・講座などの内容を充実させる」が、それぞれ1位です。

「教室・講座などの内容を充実させる」「学習できる施設を充実させる（使いやすいようにする）」は女性の回答率が高く、男女の差がめだちます。



年代別で比較すると、20代・30代は「広報、町のホームページなどを使って学習に関する情報提供を充実させる」、40代・70代は「教室・講座などの内容を充実させる」、50代・60代は「講師・指導者を充実させる」が、それぞれ1位です。



【問8】 剣淵町の社会教育施設・社会体育施設に関する意見（自由記載）

次の剣淵町の社会教育施設・社会体育施設に関して、普段感じていることやご意見があればご記入ください。

※（ ）の中の数字は、同じ回答内容があった場合の人数です。

① 町民センター

- ・ 集まりやすい
- ・ 暗い。
- ・ 照明が暗い。
- ・ 天井についているスポットライトの向きを変えるのに苦労する。
- ・ 玄関入ると暗い感じ。
- ・ ロビーや廊下の照明が暗くて、イベントなどの時にさびしい感じがします。
- ・ 音が悪い。
- ・ 音響設備が使いづらいし、音が良くない。
- ・ 音響をもう少しいいもの（わかりやすいもの）にしてほしいです。
- ・ ステージが小さい。
- ・ 通路がせまい
- ・ いつも利用しているのですが、芸能発表会などに身支度する時のカーテンで仕切られた衣装部屋になる様なものがあれば良いと思っていました。
- ・ 御手洗がきたない。悪臭もする。
- ・ トイレを全部洋式にして頂ければ…。
- ・ トイレ（和式）が子供には使いづらいのではないか。
- ・ タバコの自販機はなくてもよいのでは？
- ・ タバコを吸う所はいらないと思う。
- ・ 改修時期に来ているのでは。
- ・ 全町民が利用しやすい完備された施設に。
- ・ いつあいているのかわからない。
- ・ 普段何に活用されているのか、わからない。

② 絵本の館

- ・ 絵本の里けんぶちの「顔」ですね。とても良い施設だと思います。
- ・ 常に催し物があり、頑張っているなあと感じています。
- ・ 行きやすい。
- ・ 町内外より利用が多い素晴らしい施設。
- ・ 小さい子供が行きやすいと思う。孫が遊びに来てつれて行くと喜ぶという事は良い場所。
- ・ 子供がいない人にとって行きにくい所です。
- ・ 町内に住んでからは感じないが、町外にいる時は入りづらかった。どんな施設かわからなかった。
- ・ 子供が小学生の時はひんぱんに利用していましたが、子供が大きくなるにつれて利用が少なくなってきています。
- ・ 1人では中々入りづらいものでした。今は孫ができ、広く暖かく沢山の本に囲まれ長い時間楽しんでいます。
- ・ “絵本”だけでなく一般の蔵書を充実させてほしい。

- ・良い施設だが、普通の本が少ない。
- ・大人の本が少ない。
- ・大人の本が探しづらい。
- ・小説がもう少しあるといい。
- ・読みたい本が少ない。
- ・健康に関する本が少ない。東洋医学、西洋医学の本など。
- ・子どもたちが集う場であたたかい感じがする。もっと本をかりたい。
- ・イベントや原画展などで玄関を入ると一瞬どっちへ行こうかキョロキョロしてしまうことがあります。
- ・イベント情報を町外にもっと発信した方が良い。
- ・もう少し中学生や高校生などが使いやすい工夫ができないか。
- ・もっと絵本の里をアピールするイベントを、たくさんやるべき。
- ・案内看板が小さすぎてわかりづらい！
- ・飲食可能なスペースがあると昼食持参で遠方から来る方もゆっくりできるのでは。
- ・交流人口の増加に一番の活躍を。
- ・子ども用のスリッパを置いてほしい。床が冷たい。
- ・地方の方々の来館が多いのは良いですが、案外、地元の町民で入館した事がない人が多いのではないのでしょうか？
- ・閑散としていてあたたか味がない。
- ・年末、年始に休館するのは、帰省する人のことを考えていない。
- ・何のためにこれほど力を入れているか理解できない。

③郷土資料館

- ・入りづらい。(2)
- ・暗い。(2)
- ・あまり行ったことがない。
- ・どこにあるかわからない。
- ・資料館自体あることを最近知りました。
- ・あまり人目につかないのでは？
- ・入り辛い。存在を知らない人も多いのでは…
- ・絵本の館が目立つので存在感がない。建物も古いので見た目も良くない。絵本の館から渡り廊下等でつなぐだけでも違うのでは？
- ・一度観たらもう良い。
- ・物は沢山ある。
- ・多くの資料があり、重要だと思いますが、整理が良くない感じがします。
- ・未整理。
- ・展示がマンネリ。
- ・入館しやすいとは感じない。もう少し整備した方が良いのでは。
- ・なかなか活用することもなく、もうすこし情報を発信して町民に関心をもってもらえるようにしたらどうでしょうか？
- ・剣淵の歴史を見るには良いが利用者が少ないのでは。
- ・自分が見たり利用したことがある品や道具のため魅力があまり感じられませんが、若い方は違うかもしれません。陳列も一考を。
- ・折角あるのだからいつか日の目をみられる様に何か名案はないものかといつも思っている。
- ・有効活用されているとは思えない。

④ B & G 海洋センター体育館

- ・改修してとても良くなった。(3)
- ・改修されてきれいになった。(3)
- ・改修して使い勝手が良くなった。(2)
- ・トイレが綺麗になって良かった。
- ・改修も終わり、ロビー等もきれいになりましたね。この体育館からチアリーディングの全国優勝が生まれ最高です。
- ・全町民の憩いの場所となった。
- ・行きやすい。
- ・少しせまい。
- ・ギャラリーがほしい。
- ・夏場の暑い日に窓をあけると虫（がなど）が入って来るので、網戸をつけてもらいたい
- ・フリーウェイトが出来るような器材があったら良い。
- ・子供の遊ぶスペースがない（アリーナから見える所にない）。
- ・幼児を対象とした運動遊び（体を動かす）の教室など開催してほしい。土、日、祝などで。レクリエーションなども。
- ・これからも利用させてもらいます。いつ使えるのかわかりやすいともっと良い。
- ・あいている時がいつなのかもわからない。いつでも利用できるようにしてほしい。
- ・団体の予約がいっぱいで一般の人が利用できない。
- ・体育館を使う団体が固定化されているため、使いたいと思っても使えない。一般開放の日を設けるなどした方が良いと思う。
- ・一般の方がいつ使えるかその場に行かないとわからないので月はじめに決まっている予定だけでもわかるように広報などにのせてほしい。
- ・町民が利用するにあたり有料である事が利用しにくくなっている。
- ・使用して良いかどうかわからない。

⑤ B & G 海洋センタープール

- ・行きやすい。
- ・今度使ってみたい。
- ・一般の利用方法がわからない。一人で利用してみたい（時間、費用等）
- ・いたみがひどい。
- ・水深が浅すぎて泳いでいても足が底にぶつかりうまく泳げない。
- ・プールのロッカーをカギつきにしてほしい。
- ・暑い時に利用できるプールであってほしい。
- ・見張りの人が高齢者で、万一のときに大丈夫かと思う。
- ・夜の利用者が少ないのが気になる。
- ・現状では利用者が少ないのはしかたない。
- ・冬期間スケートリンクに出来ないか検討する。

⑥ B & G 海洋センター艇庫

- ・行きづらい。
- ・カヌーに乗る時、誰に言って借りれば良いのかわからない。
- ・どう利用する施設なのか知らない。
- ・現状では利用者が少ないのはしかたない。

- ・もっと周知して利用者をふやした方がいい。利用したことのない人の方が圧倒的に多い。
- ・夏場は月に1度くらいで、町民に開放（体験）してはどうか？

⑦平波球場

- ・良い球場だと思います。
- ・行きやすい。
- ・内野、外野の管理が大変よい。
- ・いつもお世話になっています。又、管理されている方の管理意識の高さは素晴らしく、他町から驚かれるほどです。野球人として、いつまでも誇れる球場であってほしいです。
- ・いつもとてもきれいに整備されている。
- ・とても整備がしっかりしており、立派な設備だと思いますが、まだまだ利用頻度が少ないようで、もったいないと思います。
- ・完備されているが利用が少ないのが・・・
- ・町外の方の利用もある様なので是非、大勢の人に利用して頂いて長く使用できる様管理して頂きたいと思います。
- ・立派な球場をつくっても遊ばせているような気がする。もっとたくさん大会などで利用すべき。使わないのならムダ。
- ・町外からの利用者をどんどんうけいれるといいと思う。
- ・整備は良いが駐車スペースが狭い。
- ・球場横の芝グラウンドがあまり良くない。サブグラウンドの暗きよがきいてない。(2)
- ・放送設備を更新してほしい。(アンブ以外)
- ・平波荘との間に練習場があるがもう少し大きく→球場西側にできないだろうか。
- ・スコアボードがあるのに使用していないのはなぜか。
- ・球場の坂になっているところで坂をのぼるのに遠回りして階段からだったりするので直接上がって行けるように段をつくってほしい。
- ・自由に使ってもいいのでしょうか？
- ・朝4時にグラウンド整地のトラクターを使うのはやめてほしい。

⑧武道館

- ・行きづらい。
- ・寒いイメージしかない。
- ・カーテンがぼろぼろになっている、新しい物に換えてほしい。
- ・トレーニングルームがあるのに、鍵が掛かっているため使用できない。
- ・柔道、かるたと利用があるので長く利用できる様管理をして頂けたらと思います。

⑨多目的運動広場（テニスコート）

- ・硬式テニスコートとして素晴らしい。
- ・いいテニス場で感謝している。あまり使用していないようすが、壁がかわいそうなところもある。
- ・行きづらい。
- ・使用をしてみたいなとは思いますが使用申請の仕方或使用料がいくらかかるか、いつ空きがあるのか個人でも借りられるのか等、よくわかりません。教育委員会に問い合わせれば教えていただけるのですがその一歩がなかなかふみだせません。わかりやすいなにかがあれば借りやすくなるのかもしれない。
- ・冬場の有効活用を望みます。

⑩ふれあいパークゴルフ場

- ・とても良いと思います。
- ・使いやすい。
- ・剣淵の芝は良く手入れされている様に思います。
- ・きれいに整備されているなーと思う。
- ・初心者には使いやすい。
- ・幅広い年代の方が利用できますので大変良い施設だと思います。
- ・町内外より利用者も多く管理も良い。
- ・利用者が多いようなのでいいと思う。
- ・時間ができたら使ってみたい。
- ・コース整備の充実。
- ・グリーンの周をきちんと芝を草刈してほしい。
- ・雨がどしゃ降りの中でも電気だけはついていてもったいなと思います。
- ・見やすい所に時計があれば便利だと思う。
- ・同じ人達ばかりが楽しんでいる気がします。
- ・町内の人も町外の人もプレー代同じでいいと思う。(今、どこの市町村でもパークゴルフ場はある。まして18ホールしかないので)
- ・町内の人は無料、管理費として1日100円、町外者は管理料として1回300円もらってもいいと思う。

⑪桜岡パークゴルフ場

- ・大変すばらしい。
- ・使いやすい。
- ・景観がとてもきれい。キャンプ場もよい。
- ・幅広い年代の方が利用できますので大変良い施設だと思います。
- ・町内外より利用者も多く管理も良い。
- ・使用料も安く、きれいに整備されている所は、町外の方にも喜ばれると思います。
- ・時間ができたら使ってみたい。
- ・コース中の芝を短くしてほしい。
- ・同じ人達ばかりが楽しんでいる気がします。
- ・もっとイベント(大会など)を開いて町外利用者を増やす努力が必要。
- ・もっと利用料金を高くして管理を徹底するべき。
- ・道路を歩く人が遅く事故が起こりそう。

⑫屋内ゲートボール場

- ・野球の練習もできよい。
- ・視察により完成した施設で思い出が深い。
- ・冬期の野球練習に活用させていただいております。非常にありがたく、今後も保持いただけると、うれしく思います。
- ・オールシーズン利用できるすばらしい施設だと思う。もっと有効的に利用するべき。
- ・冬季間、多様なスポーツに使える施設になるといいのではないのでしょうか。
- ・小中学生の野球の練習等にも利用しているので継続して利用できることを願っています。
- ・入りづらい。
- ・同じ人達ばかりが楽しんでいる気がします。

【問9】 剣淵町の社会教育、社会体育への意見（自由記載）

剣淵町の社会教育、社会体育への意見がございましたらご記入ください。

<講座、教室、活動など>

- ・ 結構いろんな教室をやっているの、良い。
- ・ 健康に関する取組をやってほしい。
- ・ 老人から若い世代に編み物（くつ下、帽子、手袋など）習い教えたい。学びたい。
- ・ 針と糸で、パッチワーク。着物でリホームしての作品など、幅広い年代で、知恵を出し合いたいと思います。講師の方を頼んでほしいと思います。
- ・ 是非「着付教室」を行ってほしいです！！（着物ばなれが進んでいるなか大変難しいと思いますが…）もし教室あるなら参加したいと思います。
- ・ テーマごとに研究会があれば参加したい。宗教・民族・歴史等々。隠れた知識人が町内にうもれているかも。
- ・ 人材登録をしている人達を活用した講座・教室等の開催。
- ・ 平波大学等の講座に知識を得られるような物を加える。
- ・ 剣淵の人は比較的真新しいもの珍しいものに関心をもつことが多いと思うので、新しい事を積極的に行うといいと思います。
- ・ 夜や休日に講座を開いてほしい。
- ・ 街から遠い所に住んでいるので、研修館、交流ホームなどでも活動があれば行きやすい。
- ・ まだ子どもが小さいので自分を優先にできない。子育てで疲れてしまい色々な活動があっても参加できない。託児付きなど周りのバックアップがあれば参加したい。
- ・ 年寄が興味を持ってする様な事があまりない様な気がします。

<新たに参加しづらい>

- ・ いろいろな取り組みには評価できると思うが、一部のマンネリ・雰囲気（行事）が…参加しづらいとの声も聞く。
- ・ どの講座も参加しているのは女性が多く、しかも中年以上の方です。若い人が参加しやすい、又興味を持つ講座等を増やしてほしい。
- ・ 社会教育に対して積極的に利用しにくいと思います。ある一定の人達でできあがっていて、新たに参加するのに勇気が必要な気がして、結局やめてしまうといった状態です。

<イベントなど>

- ・ 色々と気軽に参加できる体験形のイベントを増してほしい。
- ・ 朝日町サンライズホールの芸能等の鑑賞会を行う。町のバスで送迎する等。

<情報発信、情報共有>

- ・ 健康に関する講座などは無線放送やチラシなどでもっと知らせた方が良く！
- ・ 剣淵町に限らずに周辺地域の利用可能な講座、イベントの情報をHP等で情報発信してほしいです。
- ・ 講演会やイベントなど、行ってみるとよい内容のものがいろいろあります。「声かけ隊」みたいなものをつくって、友人や知り合いに口コミで参加を勧める声かけができるといいかなと思います。
- ・ サークル、スポーツの代表者の話し合いの場が必要なのでは。活動の状態がわからないでは？

<施設>

- ・学校の体育館を使いやすくしてほしい。
- ・体育館がB & Gしか使えないので、小・中学校の体育館も使える様にしてほしい。
- ・高校の体育館が町民体育館のようだが、一般利用が出来るとは思えない。全町民に対して開かれていない気がする。毎日練習できる様に複数の体育館があればありがたい。
- ・レークサイドの所のサッカーコートを合宿等で使用しているのをみますが、芝が枯れており環境が悪いようにみえます。
- ・じゃがいも館を設立し、じゃがいもに関する道具（澱粉機械等）を展示する。東町研修館横但東剣淵体育館を改修し利用する。
- ・特に子どもたちの冬場の活動できる所、たとえばスキー場スケート場等が何もないことへの淋しさがあります。何か大人達が助けてあげなければならないのでは…と思います。太陽に当たるのが、からだに一番いいらしいですよ。
- ・雪国の町にスキー場もない、スケートリンクもない。赤字だからスキー場を閉鎖するという考え方は、知恵がなさすぎる。
- ・先日息子が『静かすぎずにぎやかすぎない小さな勉強できる場所があるといいなー』と言っていた。今の時代は、ゲーム、DVD、スマホ等の誘惑が多い家の中では、それを断ち切って勉強することはむずかしいのかなー？と思いました。思い立った時にちょっと行って勉強できる場所があるといいなーと思いました。
- ・どこの施設もあまり利用することがないので、もっと開放的にしてほしいです。なんとなく利用しづらい感じがします。
- ・全体的に、いつあいているのか、使用して良いのか、お金はかかるのか、どこに連絡したら良いのか等わかりません。以前、子供が聞いたら冷たい対応だったと不満を言っていました。そこらへんの改善も必要だと思います。
- ・各施設の維持管理をして長く使えるようにして下さい。

<指導者>

- ・小・中・高の生徒に対する、スポーツ、文化活動に対しての指導の支援（施設、道具、指導者、費用など）を充実させていただけるよう望みます。
- ・子供のスポーツの指導者が少ないと思います。
- ・少年団ですが、クロスカントリーの指導者がいるとよいと思います。

<その他>

- ・多面的にいろいろ実施されていることに感謝しています。
- ・剣淵町の施設・設備等とても充実していると思います。町や区ごとにもたくさんのイベントがあり。県外から来た者にも馴染みやすい場だと思います。いつも本当にありがとうございます。
- ・社会教育の場という点で剣淵の施設を考えればかなり行き届いていると思う。ボランティアとして福島の子供達を受け入れる時も様々な施設を好意的に使わせていただき感謝している。
- ・このアンケートを元に、これから剣淵がどのように変わっていくのか楽しみ。結果報告だけでなく実践していかななくては、このアンケートの意味がない。期待しています。

IV 社会教育団体アンケートの結果（自由記載）

社会教育に係る団体（37団体）から、回答を頂きました。

実際に記載を頂いた内容の中から、「団体の持つ課題」「今後の抱負など」「社会教育や生涯学習への意見、提案」に関する内容について掲載しています。

No.	団体名 (活動内容)	課 題	今後の抱負など	社会教育や生涯学習への 意見、提案
1	剣友墨 (書道)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者がいないため、会員を増やすことはとても難しく思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニミニ美術館、文化祭は協力できる。 	
2	墨遊会 (書道)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多く、新しい会員が入会しない。 		<ul style="list-style-type: none"> ・平波大学の習字の教習時間を多くしてほしい。筆を持って字を書く楽しさを。
3	剣淵水墨画会 (水墨画)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年から4名新会員が加入。 ・水墨画に興味があるが、絵心がない等の理由で加入を遠慮されている方がいる。 ・文化祭、絵本の館での展示を行う際の準備や後片付けに苦労している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・水墨画の教本購入について支援をしてほしい。
4	平波吟社 (俳句)	<ul style="list-style-type: none"> ・区会に参加する人が少なく、句の投稿でかろうじて会を維持している。 ・若い人は仕事などが忙しく参加が難しいようだ。 ・昨今は俳句をやってみようと思う人も少なく、会員が増えず、会の存続も難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句を作り発表する場があることでモチベーションがあがる。 ・何年ごとに合同の句集を編むことで新たなステップを踏み出せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単会ではなかなかできない講師を呼び、基本的なこと、言葉や古典に親しむなどの勉強ができればいい。 ・若い人が俳句に興味を持ちつくる楽しみを分かってもらえるように力を貸して欲しい。 ・句集作りも町の助成金では難しいようなので、本を作るのに必要なパソコンを打つ事のできる人ややってくれる人を紹介、斡旋してほしい。（高齢のためパソコンを使えない。製本業者とは価格が折り合わない。）

No.	団体名 (活動内容)	課 題	今後の抱負など	社会教育や生涯学習への 意見、提案
5	平波大学俳句クラブ (俳句)	<ul style="list-style-type: none"> 近年平波大学卒業者の入会が年々減少し、ここ数年全くない。特定の指導者を擁さないと存続が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> このままだと解散になる。ここ1年で試行錯誤する。 	<ul style="list-style-type: none"> 中年層に俳句をたしなむきっかけをつくるとすれば継続的な公民館講座がある程度の効果をもたらすとも考えられる。 平波大学の学習教科化により優れた指導者による継続的指導も良い結果を生むと考えてみては。
6	ふきのとう俳句会 (俳句)		<ul style="list-style-type: none"> 講師による合同研修、吟行(自然に触れて風景を句にする) 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館活動として俳句教室を開催する。(会員の増加のため)
7	ユトリロ会 (絵画)	<ul style="list-style-type: none"> 会員の高齢化、病気、配偶者の病気、会員の死去等により活動は停止状態。唯一、文化祭への出品のための製作を各々行っている。 		
8	草花の会 (押し花)	<ul style="list-style-type: none"> 会員の減少。 会員の高齢化によって、集まって創作活動もできず、各自が自宅で細々と製作している。 		
9	楡の会 (押し花)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢により会員の減少。 	<ul style="list-style-type: none"> 押し花だけでなく、少しでも若い方達に関心を持ってもらいたく、昨年会員と町民の方とのファブリック・ステンシル講習会を行ってみた。参加者からは楽しかった、良かったと、今後も時々行ってほしいとの意見があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいことを取り入れたいと考えても、町内に講師がいない場合は、例えば札幌から講師をお願いする場合は交通費、講師謝礼となると会だけでは難しい問題が多くあった。
10	ちぎり絵会 (ちぎり絵)	<ul style="list-style-type: none"> 冬期間だけの活動だが、1年間を通すことで四季の作品ができるが夏期間は農作業などで集まれないのが悩み。いずれ年間を通し作品づくりをしたいと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 何年か先には、絵本の館を借りて作品展示会ができることを望んでいる。 	

No.	団体名 (活動内容)	課 題	今後の抱負など	社会教育や生涯学習への 意見、提案
11	けんぶち七宝あじさい会 (七宝焼)	・高齢化により、会員の減少が否めない。	・平成18年、23年に引き続き、平成28年に作品展を開催する。それに向けて作品づくりに励んでいる。	・(絵本の館には)軽食ができる喫茶店があって町外から来られた人に軽く接待できることが非常に良い。
12	剣淵茶道会 (茶道)	・会員の減少。 ・活動内容は現状維持しているが、町民センター等まで道具の持ち出しや準備が大変である。	・町民が集まる場所の一部(学童保育所、老人クラブなど)で、体験茶会を開きたい。	・現在、文化祭、道北文化集会などの時、各社中より持ち寄りで道具を出していたが、備品として道具の一部でも準備してほしい。
13	剣淵町大正琴愛好会 (大正琴)	・現在は問題ないが、今後会員の減少が問題。募集しても新しい人が入ってこない。		
14	光星会 (民謡太鼓)	・会員の高齢化、減少。	・若い人達にも入会してほしい。	
15	剣淵光民謡会 (民謡)	・会員を増やすため、会員の説明をしても、同じ民謡仲間でも受け入れられない部分もあり、難しい。いつまでも同じ会員で減っても増えず、いつの間にか会が消滅することになりかねない。会員を増やすのは本当に難しい。		
16	光林おけさ会 (民謡)	・若年層の入会がなく、高齢化及び会員の減少傾向に歯止めがかからない状況。	・若年層にも披露できる場面をつくるなど、民謡文化の普及拡大に努めたい。	・町民センターで各サークルのコーナーを設け、町民へアピールなどできる場(年1~2回)を設けてはどうか。 ・小中高校生とのふれ合いの場もあれば良い。
17	剣淵バレーボール協会 (バレーボール)	・過去5年ぐらい参加人数は変わらないが、主催する協会の活動者の高齢化がめだつ。	・今年、町民バレーボール大会が47回目を迎える。3年後に50周年記念を何かしたいと考えている。	
18	剣淵町卓球協会 (卓球)		・楽しむ人から全道大会に出る人をつくる。	・アンケートではなく話し合いの場がほしい。 ・消耗品の補充、破損部の修繕を早めにしてほしい。
19	剣淵町バトミントン協会 (バトミントン)	・参加者数が減少してきている。	・昨年より町民大会を開催し、競技の普及に努めている。継続して開催していきたい。	

No.	団体名 (活動内容)	課 題	今後の抱負など	社会教育や生涯学習への 意見、提案
20	剣淵町柔道協会 (柔道)	<ul style="list-style-type: none"> 中学生の柔道教室の出席が減り、中学生になるとほとんど出席なくなるという現象が起きている。クラブ活動や塾が忙しくなり柔道教室に行く気持ちになれないようだ。中学生に話をしてみてもその時返事はあるが休んでしまう。クラブ活動に柔道があれば良いが。 	<ul style="list-style-type: none"> 今は青年達も帰ってきて、指導者も積極的に活動してくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学に柔道の指導ができる先生が来てくれれば中学生の柔道の取り組みにも積極的になってもらえるのでは。 柔道が強くなる子ども達が沢山いるのに途中でやめてしまうのがとても残念。
21	剣淵剣道クラブ (剣道)	<ul style="list-style-type: none"> なかなか時間がとれず、しばらく活動してない。 		
22	剣淵町ペタンク協会 (ペタンク)	<ul style="list-style-type: none"> 冬期間屋内でできるスポーツとして喜んで参加してもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 団体、会員を通して会員増に努めたい。 	
23	剣淵町ゴルフ友好会 (ゴルフ)	<ul style="list-style-type: none"> 社会、経済状況の変革にともない会員数が年々減少の傾向にあり、特に若い方の参加が少ないのがめだっている。 昔と違って老若誰もがができるスポーツであることを理解してもらい、会員の確保のために周知する方法をどのようにするべきか。 	<ul style="list-style-type: none"> ハンディーキャップによって技術が異なってもプレーが楽しめることのPR、女性の参加しやすい環境づくり、高齢者の健康増進につながるなどのアピールなどを進め、会員の増加を図りたい。 	
24	道北チアリーダーディングクラブ (チアリーダーディング)		<ul style="list-style-type: none"> 年2回の大会に出場し続けられるような活動をしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 町外のメンバーや仕事の時間帯等で、なかなか揃った練習ができない中、夏期使用時間を30分延長してもらい大変ありがたかった。次年度も継続してほしい。
25	剣淵町シルバーカラオケ愛好会 (カラオケ)	<ul style="list-style-type: none"> 会員の高齢化、健康上の事柄(足、腰)、会員数の減少が続いている。 		
26	道北歌謡研究会剣淵会 (カラオケ)	<ul style="list-style-type: none"> 新会員加入の減少。 会員相互の親睦を深めることが課題。 会独自の行事を実施することが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 会員相互の親睦を深め、歌唱力の向上に努力する。 新会員の加入促進に努力する。 	<ul style="list-style-type: none"> 会場使用料が高いので、減額をしてほしい。 使用器具の修理、更新をお願いしたい。 スマートフォンやパソコンなどから見る事ができるような情報を提供する。
27	ひまわりサークル (カラオケ)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が多いので、会の消滅が懸念。 		

No.	団体名 (活動内容)	課 題	今後の抱負など	社会教育や生涯学習への 意見、提案
28	りんどうカラオケ会 (カラオケ)	<ul style="list-style-type: none"> ・11月～4月は比較的会員の参加人数は多く例会も盛り上がる反面、5月～10月は参加人数が減少し淋しい例会となる。 ・会員の高齢化も進み、会員の減少が続いている。 		
29	剣淵フォークダンス愛好会 (フォークダンス)	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークダンスは人数が多いほど楽しいが、高齢化や人口減少が進むとともに、少し敬遠される部分もあるようで、なかなか入会してくれる方がいない。 		
30	剣淵囲碁交友会 (囲碁)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多く、会員が年々減少。土別、和寒の参加を得て実施。 ・冬に2階で実施の際、トイレが1階で高齢者には大変。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けの活動も実施したいが、指導する人が不足しており、定期的には無理。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会場の使用について、今まで通りお願いしたい。
31	剣淵歌留多愛好会 (カルタ)	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的にカルタに接する機会が少なくなり、愛好会においても指導者の確保が困難になってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当面は子ども会への普及活動で、その父母達も含め練習の継続をめざす。 ・地区からの要請があれば出向き、指導・読み手等の協力をしたい。 ・ファミリーカルタ大会や三世代混合大会など、カルタとふれあう機会をつくり裾野を広げる活動を考えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平波大学、地区サロン等でカルタ教室のようなものを開き、老人方にも楽しさを思い出してもらえる機会があれば良いと思う。 ・JAでは毎年、組合員親睦カルタ大会が行われており、ほぼ全地区が参加して、練習を含めて地区全体で楽しんでいるが、町からの協賛の申し入れ、農家以外の方も参加してもらえないことは考えられないか。 ・伝承文化を守るため、町や教育委員会、地域おこし協力隊の方々に積極的な関与をお願いしたい。
32	剣淵町カメラ愛好会 (カメラ)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化により会員が少なくなり、新会員を増やすべく努力しているが入会者がいなく困っている。活動範囲が狭まり、若い会員が入ることを願っている。 		
33	アイリスの会 (手芸)	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の期間は集まり具合が良くないので、平成27年度からは5～9月の期間は(月2回の例会を)月1回の例会とする。 		

No.	団体名 (活動内容)	課 題	今後の抱負など	社会教育や生涯学習への 意見、提案
34	キルトクラブ (手芸)	・農家の方が多く、4～10月 は活動を休止している。	・今までの作品を 展示することがで きたらと思っている。 。	
35	おはなし会芽 ぶっく (読み聞かせ)	・読み手の偏り(仕事の都合 で夏場が特に合わない) ・小学校の読み聞かせが、絵 本の里を創ろう会の活動に なっている。創ろう会の会員 はいるが、芽ぶっくは創ろう 会に所属していないので、 はずしてほしい。	・保育所、小学校 に関しては継続し ていきたい。 ・学童保育の活動 を計画中有。ただ し定期的には難し く、長期の休み (夏、冬、春)を利 用した活動をして いく。	・朝読書や読育を保育所、小 学校まかせになっているの で、家読ができるよう、「大 人のための読み聞かせ」 「親子での読み聞かせ」 「我が子に必要な本は？」など 話をする機会があればと思 っている。
36	絵遊会 (絵手紙)		・歩けない人や孤 独な人に、ひとつ の楽しみを与える ボランティアも良 いかと思っている。 。	
37	老人クラブ連 合会 (老人福祉)	・会員の減少、高齢化によ り、事業計画段階で事業が 限定もしくは縮小せざるを 得ない状況にある。	・異世代間交流が 増えると生涯学習 団体としてふさわ しい。(毎年1度、 保育所に出向き 七夕の行事に参 加)	



発行 剣淵町教育委員会 教育課

〒098-0392 北海道上川郡剣淵町仲町 37 番 1 号

TEL : (0165)34-2121

FAX : (0165)34-2530